

令和4年度中小企業ワンストップ総合支援事業

(中小企業者の経営相談・支援情報のデータ蓄積・活用の在り方調査)

調査報告書

令和5年3月

株式会社エイチ・エーエル

目次

1. 本事業背景、目的	3
1-1 本事業背景	3
1-2 本事業の目的	3
1-3 本報告書の目的	3
2. 事業概要	4
2-1 事業概要	4
3. 事業実施方法・調査結果	5
3-1 調査対象の支援機関	5
3-2 事業実施スケジュール	5
3-3 (1) 企業データ（現状・課題）・支援情報（助言・支援内容）の一元化に係る調査	6
3-3-1 事業実施方法	6
3-3-2 調査結果	7
3-4 (3) 相談記録・経営支援情報システムのデータ利活用ユースケースの整理	7
3-4-1 事業実施内容	7
3-4-2 テキストマイニングおよび Excel 分析方法	8
3-4-3 分析結果	10
3-4-4 分析①、分析②から見てきた既存カルテシステムの改善案	17
3-5 (4) 相談記録・経営支援情報システムの要件定義・テーブル定義・プロトタイプ検証	18
3-5-1 プロトタイプシステム概要	18
3-5-2 本システムの利用者	18
3-5-3 システム構築～実運用において想定される調査・検討事項	19
3-5-4 プロトタイプシステム構築の対象機能	20
3-5-5 プロトタイプシステムの機能別要件定義	20
3-5-6 プロトタイプシステム概念図	21
3-5-7 プロトタイプシステム構築環境	22
3-5-8 閲覧制限設定	22
3-5-9 画面遷移図	23
3-5-10 画面イメージ	23
3-5-11 打鍵検証	34
3-5-12 ミラサポコネクスト連携方法検討	45
3-5-13 システム整備が与える影響の検討	46
3-5-14 既存情報の引継ぎ検討	46
3-6 (2) 企業データ（現状・課題）・支援情報（助言・支援内容）システムの在り方調査	48
3-6-1 事業実施方法	48
3-6-2 調査結果	48
4. 総括	50
5. 補足	51

5-1	本事業実施における外部委託先	51
5-2	本事業の検討、進捗報告方法	51

1. 本事業背景、目的

1-1 本事業背景

中小企業庁では、各支援機関と協力して、全国の中小企業・小規模事業者の経営相談対応を行うほか、中小企業庁・地方経済産業局においても問合せ対応や企業訪問等、中小事業者と日々接点を持っている。

中小事業者との接点で得た情報や支援内容は貴重な経営支援情報であり、知識の共有による経営支援体制の向上や蓄積したデータ等の新たなサービス・政策立案への活用も考えられるほか、各業務及び事業の業務効率化も期待されるところである。そのような中、中小企業庁において経営支援情報の一元化及び蓄積した支援データの利活用を検討している。

1-2 本事業の目的

本事業は、事業者の相談情報・経営支援情報を一元化し、政策立案・各業務及び事業の効率化・経営支援の高度化を達成するためのデータ調査・ユースケース整理及びそれらのプロトタイプ実証を行うことを目的とする。

1-3 本報告書の目的

本報告書では、事業概要および事業目的を鑑み、中小企業庁からの委託業務期間において実施した内容を認め、次年度以降に繋げる内容を記載することを目的とする。

2. 事業概要

2-1 事業概要

事業者の相談情報・経営支援情報を一元化し、政策立案・各業務及び事業の効率化・経営支援の高度化を達成するためのデータ調査・ユースケース整理及びそれらのプロトタイプ実証は、本事業の仕様書に従い以下（１）～（４）の事業を行う。各事業の概要を以下に記載する。

（１）企業データ（現状・課題）・支援情報（助言・支援内容）の一元化に係る調査

よろず支援拠点での相談対応、伴走支援員による伴走支援、地方経済産業局等による企業支援・問合せ対応等で得る企業の相談データ及び支援内容データについて、一元的にシステムに蓄積するためのデータ標準化に向けた調査を行う。

（２）企業データ（現状・課題）・支援情報（助言・支援内容） システムの在り方調査

相談記録・経営支援情報を一元化しシステムを整備する場合において、当該システムを最大限活用し、政策立案・各業務及び事業の効率化・経営支援の高度化につなげるための、当該システムの在り方を調査する。

（３）相談記録・経営支援情報システムのデータ利活用ユースケースの整理

当該システムにて蓄積したデータをどのように政策立案、業務及び事業効率化・経営支援の高度化に活用していくのか、ユースケースを想定しながら整理する。併せて、想定したユースケースの実現可能性、実現するためのステップ（手順）も整理する。

（４）相談記録・経営支援情報システムの要件定義 ・テーブル定義 ・プロトタイプ検証

上記（１）～（３）で整理した情報を基に、相談記録・経営支援情報システムの要件定義・テーブル定義を行う。また、当該システムを活用し各業務及び事業の効率化・経営支援の高度化が見込まれるかどうかについて、プロトタイプ構築・ユーザーの打鍵を通じて検証する。

3. 事業実施方法・調査結果

3-1 調査対象の支援機関

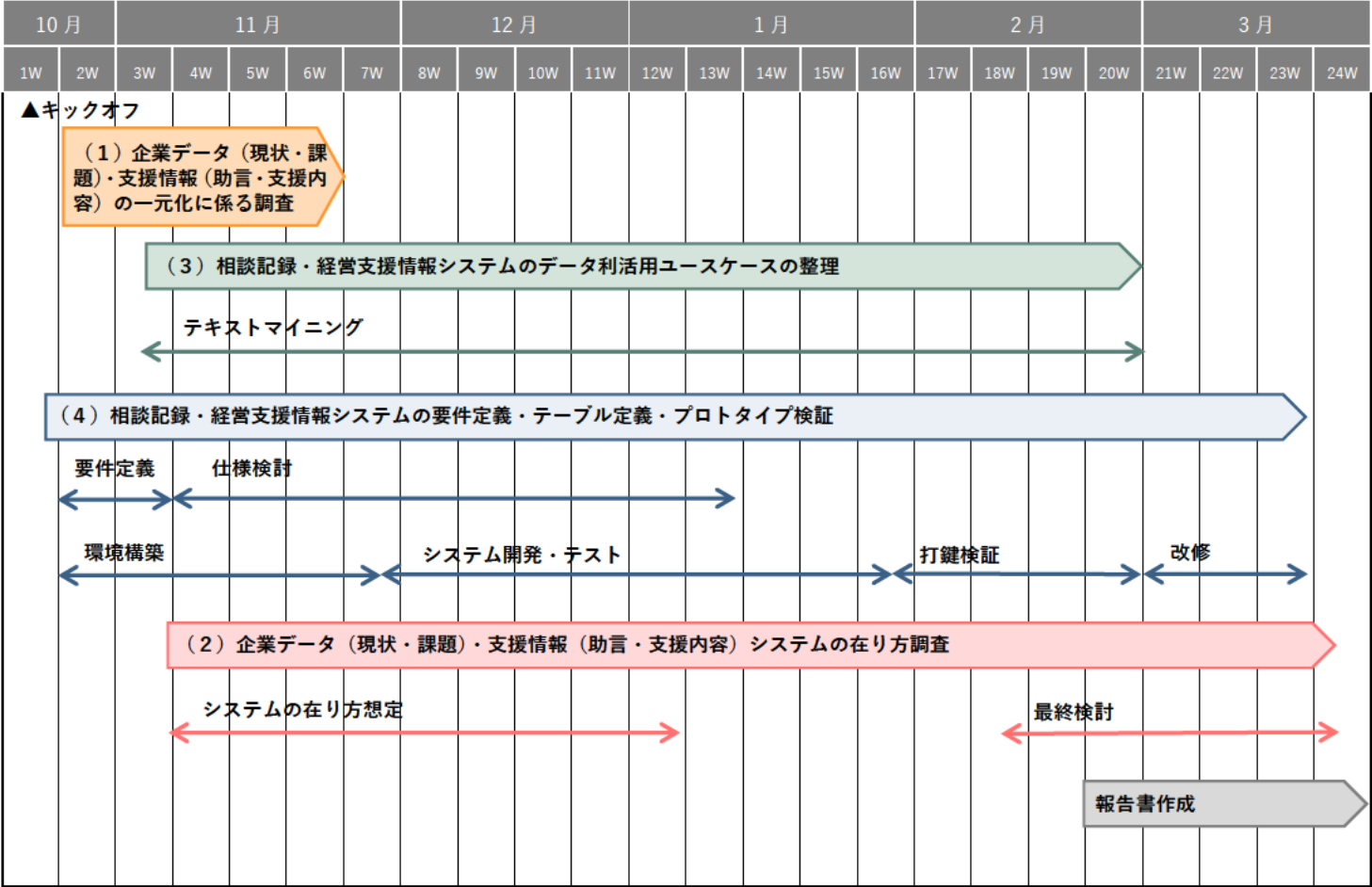
調査対象の支援機関を以下に示す。

- 1) よろず支援拠点
- 2) 経済産業局
 - ・各経済産業局内で実施されている伴走支援
 - ・経済産業局職員による企業訪問

3-2 事業実施スケジュール

「2-1」に記載した事業について、「図 3-2-1 事業実施スケジュール」のとおり事業（1）、（3）、（4）を同時並行で進め、都度、その結果を基に「（2）企業データ（現状・課題）・支援情報（助言・支援内容）システムの在り方調査」の検討を行った。

図 3-2-1 事業実施スケジュール



以降「3-3」～「3-6」に、各事業の実施方法、および調査結果を記載する。
実施スケジュールの通り、実施した事業順に記載する。

3-3 （１）企業データ（現状・課題）・支援情報（助言・支援内容）の一元化に係る調査

3-3-1 事業実施方法

調査対象項目

よろず支援拠点で使用されている既存システムおよび、各経済産業局で用いられている管理フォーマットを参考に中小企業庁との協議の結果、本事業で検討するシステム機能項目を決定した。システム機能検討項目を「表 3-3-1-1 システム機能検討項目」に示す。

表 3-3-1-1 システム機能検討項目

支援機関	支援事業	事業所 基本情報	相談者	支援者	相談記録・経 営支援情報	成果指標
よろず支援拠点	相談対応	○	○	○	○	
経済産業局	伴走支援	○	○		○	○
	企業訪問	○	○		○	

調査方法

「表 3-3-1-1 システム機能検討項目」から企業データ（現状・課題）・支援情報（助言・支援内容）の一元化に係るデータ標準化に向けた調査を行うべく、各機能で必要となる入力項目調査を行った。

調査方法を以下に示す。

- 1) 調査で必要となる既存システム項目等の資料に関しては中小企業庁より提供を受けた。

以下に提供資料を記載する。

- ・よろず支援拠点：よろず支援拠点カルテシステム項目
- ・経済産業局

伴走支援：支援報告、進捗管理用フォーマットサンプル、訪問結果報告書サンプル

成果指標把握フォーマットサンプル

企業訪問：ヒアリングメモ様式サンプル

- 2) 提供資料を元によろず支援拠点、経済産業局で用いられている項目の照らし合わせを実施し、必要想定項目、不要想定項目へ判別を行った。
- 3) 一元化できる項目、各支援機関のみで必要な項目、支援内容で用いる項目等を整理し、項目ごとにシステム入力時のデータ型、入力規制ルールの検討を行った。
- 4) 各検討内容においていずれも、中小企業庁へ提案のうえ、精査・整理を繰り返した。

3-3-2 調査結果

本調査において、今後のシステム利活用におけるデータ項目基盤の精査・整理ができた。

具体的には、よろず支援拠点と経済産業局にて、事業所基本情報、相談者情報については共通項目を設定し、一元化を図ることができた。相談記録・経営支援情報については、基本情報（いつ、どこで、誰が、誰に等）は一元化できたが、支援内容の詳細については、支援機関により必要項目が異なるため、それぞれ専用の項目を設けた。

また、数値のみ、半角のみ等の入力規制を設け、データ蓄積をするうえで統一したデータとなるようにした。これにより、入力時の入力ルールの明確化と、データ揺れの軽減が図れた。

項目詳細については、別紙資料（「別紙①_検討項目一覧」）に示す。

3-4 （3）相談記録・経営支援情報システムのデータ利活用ユースケースの整理

仕様書記載の「蓄積した相談・支援データをテキストマイニングし、多くの中小事業者が今抱える悩み、その悩みと関連のある原因が発見できることで、効果的にリソースを投入する分野を見つけ出せるなどが考えられる」の検証を主眼に、ユースケースを想定し、よろず支援拠点の相談データを用いたテキストマイニングを実施し、データ利活用の検証を行った。

ユースケースの想定に際しては、弊社の過去の中小企業支援における情報を整理したうえで想定した。また、テキストマイニングの実施に際しては、ツールの使いやすさやアウトプットの分かりやすさの視点から、マイボイスコム株式会社が提供するテキストマイニングツール（TextVoice）を用いるとともに、Excelによる集計を行っている。

分析は、「経営支援の高度化」、「政策立案」、「各業務及び事業の効率化」にどのように活用できるかという視点により行った。

3-4-1 事業実施内容

ユースケースの想定

ユースケースには「相談者の声」、「相談者の属性」、「地域特性」の3つを想定した。

- ・相談者の声：事業者の経営課題等の相談内容を指す。相談内容は事業者の悩み、将来ビジョン等が記載されていると想定した。
- ・相談者の属性：相談者の年齢や業種、従業員数等を指す。属性による傾向の差異が見られると想定した
- ・地域特性：地域ごとの傾向の差異が考えられると想定した。

ユースケースに基づく分析内容

<分析①：Aよろず支援拠点の相談データの分析>

- ・仮説：相談内容、および相談者の属性による傾向が発見できれば、事業者に応じたアドバイス内容の想定やコーディネーター選定に役立ち、結果、経営支援の高度化に繋がると考えた。
 - ・分析内容：具体的な相談者の属性としては、創業時期／相談時期／課題／主相談者年齢／業種／従業員数／売上高／会社形態ごとに分析することで、相談内容に傾向が出てくると想定した。
- 2020年11月～2022年10月に相談があった、Aよろず支援拠点の相談データを、分析を行った。

<分析②：2022年7月1日～7月31日における9拠点のよろず支援拠点の相談データの分析>

- ・仮説：分析①の仮説に加え、地域特性では、相談内容は地域ごとに傾向に違いがあり、地域独自の課題が発見できると考えた。
 - ・分析内容：相談内容のテキストマイニング分析と、Excelで集計することで、適切な支援に繋げるための情報が得られると想定した。
- 2022年7月1日～7月31日における9拠点のよろず支援拠点における相談データを、差異把握を中心とした分析を行った。

3-4-2 テキストマイニングおよびExcel分析方法

テキストマイニング

①ワードクラウド

単語の出現頻度の量を字の大小および色で視覚的に把握する分析である（「図3-4-2-1 ワードクラウド」参照）。属性比較には、出現件数順に並べたランキング表示での出力も行う（「図3-4-2-2 ワードランキング」参照）。

図3-4-2-1 ワードクラウド



図3-4-2-2 ワードランキング

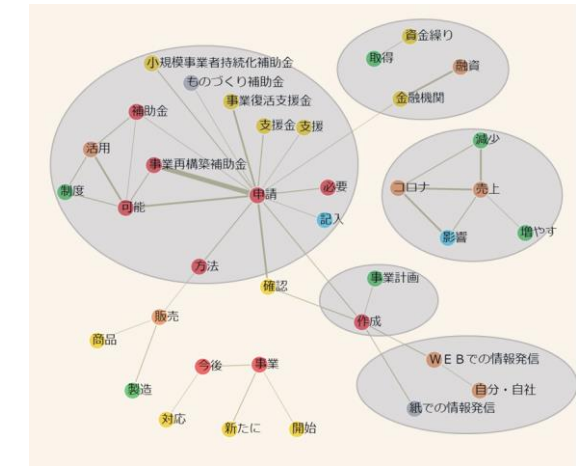
2021年7～9月			2022年7～9月		
No	ピース	構成比	No	ピース	構成比
1	申請	10.1%	1	申請	9.2%
2	可能	7.0%	2	可能	7.8%
3	コロナ	6.5%	3	補助金	6.1%
4	事業	5.8%	4	今後	5.9%
5	作成	5.4%	5	方法	5.8%
6	今後	5.4%	6	事業	5.7%
7	方法	5.3%	7	必要	5.6%
8	事業再構築補助金	5.3%	8	必要	5.5%
9	売上	5.1%	9	作成	5.3%
10	必要	4.8%	10	事業再構築補助金	5.2%
11	利用	4.3%	11	利用	4.3%
12	支援金	4.3%	12	WEBでの情報発信	4.3%
13	補助金	4.1%	13	創業	4.2%
14	販売	3.8%	14	県・市町村	3.9%
15	創業	3.5%	15	会社	3.7%
16	自分・自社	3.5%	16	自分・自社	3.6%
17	WEBでの情報発信	3.5%	17	金融機関	3.6%
18	会社	3.4%	18	活用	3.5%
19	県・市町村	3.3%	19	対応	3.3%
20	対応	3.2%	20	融資	3.2%
21	活用	3.1%	21	新たに	3.2%
22	金融機関	3.1%	22	行う	3.0%
23	以前	3.1%	23	資金繰り	2.8%
24	支援	3.1%	24	伝える	2.8%
25	資金繰り	3.0%	25	支店	2.8%
26	経営	2.7%	26	進める	2.7%
27	飲食店	2.6%	27	売上	2.6%
28	融資	2.6%	28	計画	2.6%
29	制度	2.5%	29	小規模事業者持続化補助金	2.5%
30	進める	2.5%	30	確認	2.5%

②ネットワーク

同時に出現するピースを線でつなぐことで、関連する複数のピース（※）から意味を読み解く（「図3-4-2-

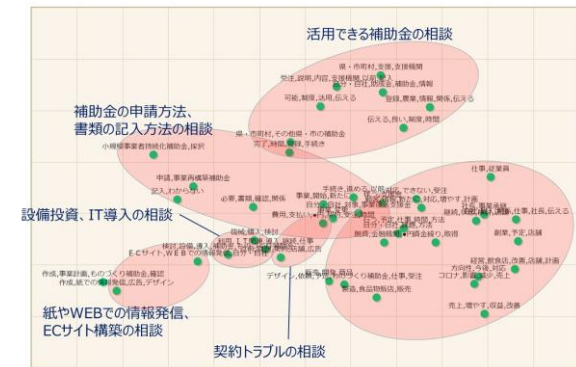
- 3 ネットワーク」参照)。
- (※) TextVoice では単語のことを「ピース」と表現し、各ピースは同じような意味の言葉を類義語としてまとめ表示している。
- 例)「WEB での情報発信」の場合、「ホームページ」、「HP」、「サイト」、「ネット」、「SNS」、「Web 広告」など、カタカナ・アルファベットによる表記や、大文字小文字等もすべて「WEB での情報発信」としてカウントしている。

図 3-4-2-3 ネットワーク



- ③パースペクティブ
- 出現ピースをマッピングしたもので、近くに配置された内容は、背景に共通の動機、意味があると解釈する (「図 3-4-2-4 パースペクティブ」参照)。

図 3-4-2-4 パースペクティブ



Excel を用いた集計を行い、属性による特徴を分析。用いた属性は、「創業時期別」、「相談時期別」、「課題別」、「主相談者年齢別」、「業種別」、「従業員数別」、「売上高別」、「会社形態別」、「成果の確認」、「相談時間」等とした。

分析①、分析②より得られた結果より、以下に分析結果の要約を記載する。

ワードクラウドからの分析結果

分析した相談データは、2020 年 11 月～2022 年 10 月であったことから、新型コロナウイルス感染症の影響が色濃く出ているのではないかと想定できる。

[illegible]

「図 3-4-3-2 ワードランキング分析結果」に、2021 年 7～9 月と 2022 年 7～9 月データごとに、出現数が多い単語をランキング形式にした結果の比較を示す。

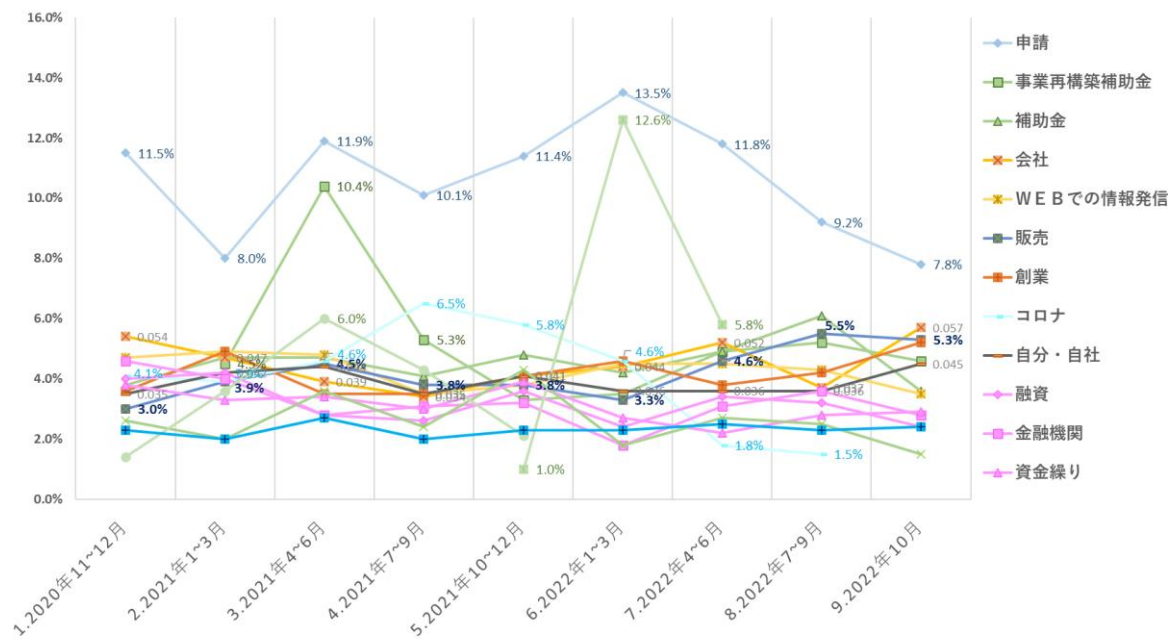
- ・2021 年 7～9 月は新型コロナウイルス感染症、支援金に関する相談が上位にあるが、2022 年 7～9 月ではランキング外となっている。
- ・2022 年 7～9 月は、補助金申請や今後の事業、販売、WEB での情報発信、創業に関する相談が多い。

図 3-4-3-2 ワードランキング分析結果（再掲）

2021年7～9月			2022年7～9月		
No	ピース	構成比	No	ピース	構成比
1	申請	10.1%	1	申請	9.2%
2	可能	7.0%	2	可能	7.8%
3	コロナ	6.5%	3	補助金	6.1%
4	事業	5.8%	4	今後	5.9%
5	作成	5.4%	5	方法	5.8%
6	今後	5.4%	6	事業	5.7%
7	方法	5.3%	7	必要	5.6%
8	事業再構築補助金	5.3%	8	販売	5.5%
9	売上	5.1%	9	作成	5.3%
10	必要	4.8%	10	事業再構築補助金	5.2%
11	利用	4.3%	11	利用	4.3%
11	支援金	4.3%	11	WEBでの情報発信	4.3%
13	補助金	4.1%	13	創業	4.2%
14	販売	3.8%	14	県・市町村	3.9%
15	創業	3.5%	15	会社	3.7%
15	自分・自社	3.5%	16	自分・自社	3.6%
17	WEBでの情報発信	3.5%	17	金融機関	3.6%
18	会社	3.4%	18	活用	3.5%
19	県・市町村	3.3%	19	対応	3.3%
20	対応	3.2%	20	融資	3.2%
21	活用	3.1%	21	新たに	3.2%
21	金融機関	3.1%	22	行う	3.0%
23	以前	3.1%	23	資金繰り	2.8%
23	支援	3.1%	24	伝える	2.8%
25	資金繰り	3.0%	24	支援	2.8%
26	経営	2.7%	26	進める	2.7%
27	飲食店	2.6%	27	売上	2.6%
28	融資	2.6%	27	計画	2.6%
29	制度	2.5%	29	小規模事業者持続化補助金	2.5%
30	進める	2.5%	29	確認	2.5%

また、ワードランキングの分析結果より、重要と思われる単語に絞って2020年11月～2022年10月までを時系列でグラフ化したものを、「図 3-4-3-3 ワードランキングの時系列分析結果」に示す。

図 3-4-3-3 ワードランキングの時系列分析結果



2021年は、7～9月をピークとして「コロナ」に端を発する相談が多く見られた。

2022年になると、「コロナ」が少しずつ減少し、2022年7～9月には「コロナ」の出現率は2021年7～9月に比べ2割に留まった。「コロナ」以外だと、「支援金」、「売上」が減少し、逆に「販売」は上昇していることから、事業に関する相談が、「コロナの影響で売上をどうすればよいか」から、「どのように商品・サービスを販売すればよいか」に、焦点が変わってきていると推察できる。

ネットワーク分析、パースペクティブ分析結果

「図3-4-3-4 ネットワーク分析結果」のとおり、出現単語の2語のつながりを分析した結果、「金融機関からの融資、資金繰り」、「コロナの影響で減少した売上を増やす方法」、「事業計画の作成」、「WEBや紙での情報発信」、「今後の事業」、「各種補助金の申請」といった、相談に分類された。

また、「図3-4-3-5 パースペクティブ分析結果」のとおり、文章の配置から相談傾向を分析した結果、「活用できる補助金の相談」、「事業方針や売上増の相談」、「契約トラブルの相談」、「紙やWEBでの情報発信、ECサイト構築の相談」、「設備投資、IT導入の相談」、「補助金の申請方法、書類の記入方法の相談」に分類された。

以上のことから、主な相談内容として、「補助金についての相談」、「事業についての相談」、「お金についての相談」の3つに集約されることが分かった。

図3-4-3-4 ネットワーク分析結果（再掲）

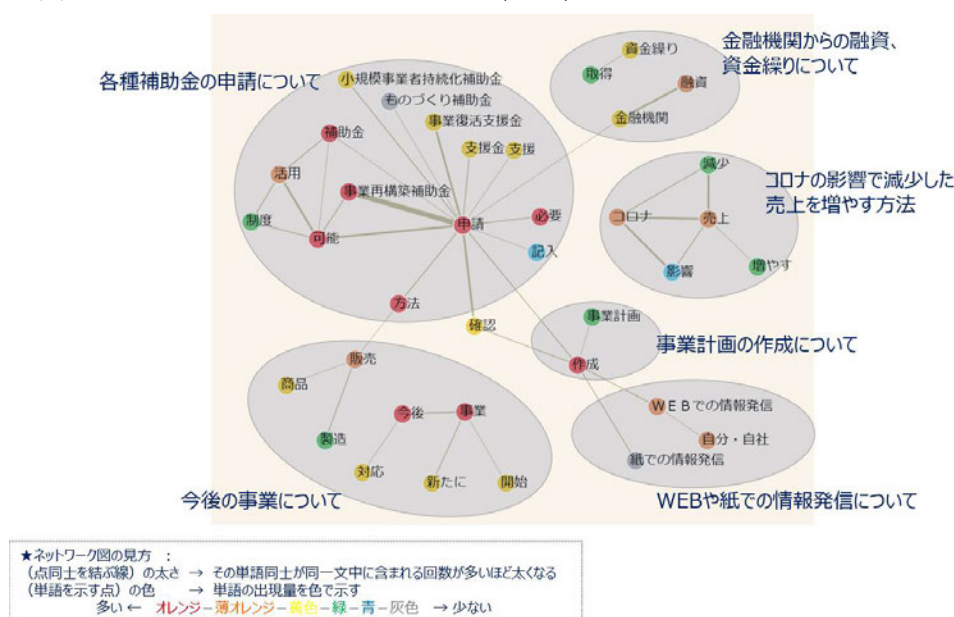
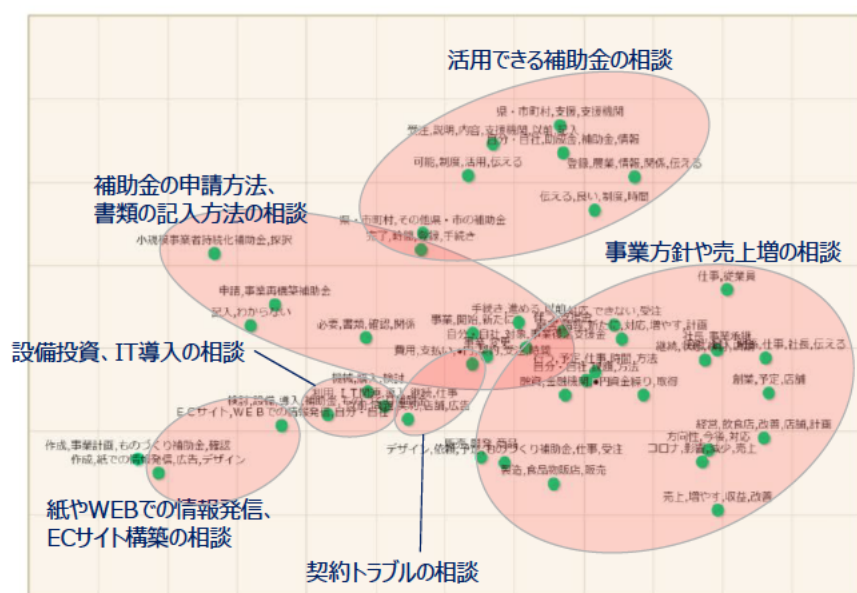


図 3-4-3-5 パースペクティブ分析結果（再掲）



分析②（2022年7月1日～7月31日における9拠点のよろず支援拠点）データの分析結果

ワードクラウドによる地域差分析結果

地域別のワードクラウドの結果より、B拠点、C拠点、D拠点の結果を抜粋する（「図 3-4-3-6 ワードクラウド分析結果（B拠点、C拠点、D拠点）」参照）。本図のとおり、各拠点により傾向が異なり、地域の特徴がワードクラウドから確認できた。

図 3-4-3-6 ワードクラウド分析結果（B拠点、C拠点、D拠点）



ワードランキングによる地域差分析結果

地域別のワードランキングの結果より、E 拠点、C 拠点の結果を抜粋する（「図 3-4-3-7 ワードランキング分析結果（E 拠点、C 拠点）」参照）。E 拠点と C 拠点では「その他県・市の補助金」に関する記載が他県に比べて多くみられた。また、例として C 拠点における「その他県・市の補助金」の記載内容例を確認したところ同じ補助金であっても入力者により、入力名称に違いが生じていることが分かった。

図 3-4-3-7 ワードランキング分析結果（E 拠点、C 拠点）

E拠点			C拠点		
No	ピース	構成比	No	ピース	構成比
1	創業	10.6%	1	対応	32.2%
2	事業	8.0%	2	事業環境変化	31.1%
3	今後	7.7%	3	補助金	20.2%
4	W E B での情報発信	7.4%	4	活用	12.4%
5	作成	7.1%	5	販売	10.8%
6	補助金	6.3%	6	コロナ	8.9%
7	活用	6.2%	7	売上	8.1%
8	自分・自社	6.1%	8	情報	8.0%
9	可能	6.0%	9	作成	7.6%
10	必要	5.5%	10	機械	7.3%
11	事業計画	5.4%	11	強化	6.6%
12	申請	5.3%	12	申請	6.3%
13	行う	4.9%	13	W E B での情報発信	5.2%
14	会社	4.8%	14	減少	5.1%
15	販売	4.7%	15	今後	5.1%
16	利用	4.6%	16	事業	4.9%
17	予定	3.9%	17	会社	4.3%
18	売上	3.8%	17	可能	4.3%
19	方法	3.8%	19	制度	3.7%
19	飲食店	3.8%	20	その他県・市の補助金	3.7%
21	新たに	3.7%	21	増やす	3.6%
22	計画	3.6%	21	計画	3.6%
23	商品	3.6%	23	新たに	3.5%
23	店舗	3.6%	24	必要	3.4%
23	融資	3.6%	25	創業	3.4%
26	進める	3.5%	26	行う	3.3%
27	その他県・市の補助金	3.3%	27	利用	3.3%

Excel を用いた集計による属性情報の分析結果

1) データ入力時の精度

「3-4-2」で記載した「創業時期別」、「相談時期別」、「課題別」、「主相談者年齢別」、「業種別」、「従業員数別」、「売上高別」、「会社形態別」、「成果の確認」、「相談時間」等の属性ごとの、入力件数の割合を算出した。下記に例として「創業時期」、「売上高」の集計結果を「表 3-4-3-1 創業時期、売上高の割合」に示す。創業時期で 15.3%、売上高で 36.6%の「不明」入力が見られ、十分な有効データが取得できていないと推察する。

表 3-4-3-1 創業時期、売上高の割合

【創業時期】

年齢	%
創業前	12.3%
1年未満	17.6%
1～5年	16.4%
6～10年	7.5%
11～20年	8.1%
20年超	22.7%
0	0.1%
9	0.0%
不明	15.3%
(空白)	0.0%
総計	-

【売上高】

売上高	%
創業前	12.9%
～1,000万円	24.5%
～5,000万円	11.3%
～1億円	5.4%
～5億円	6.6%
～10億円	1.3%
～30億円	1.0%
30億円超	0.5%
不明	36.6%
(空白)	0.0%
総計	100.0%

項目名と入力内容の不一致

入力データからは、「カルテ不具合」、「事業計画策定 NO.●●」といった実際の相談内容（「相談者の声」）とは異なると想定される情報が見受けられた。正確な情報を蓄積するためには、項目の整備、および目的を明確にしたうえで、入力ルールの統一を行う必要がある。

課題（大）、課題（中）の集計結果

選択されている課題（大）、（中）の割合を「表 3-4-3-2 課題（大）の割合」「表 3-4-3-3 課題（中）の割合」に、課題（中）の地域別割合を「表 3-4-3-4 課題（中）地域別割合（項目抜粋）」に示す。

課題（大）では、「売上拡大」が 66.1%を占めており、選択に偏りがある。課題（中）では、「経営知識」19.3%や「施策活用」14.6%等の項目が多いが、「経営知識」に関して、地域ごとの選択割合を見ていくと、全体の 38.4%を占めている地域と、4.5%の地域があり、地域による解釈の違いが見える。そのため、課題（大）、（中）の選択基準の明確化及び、選択肢の見直しが必要と考えられる。

表 3-4-3-2 課題（大）の割合

課題（大）	%
経営改善 事業再生	18.8%
再チャレンジ	0.2%
事業承継	1.4%
成長志向企業伴走支援	1.3%
創業	11.7%
廃業	0.5%
売上拡大	66.1%
総計	-

表 3-4-3-3 課題（中）の割合

課題（中）	%
I T 活用（情報発信）	8.6%
I T 活用（内部管理）	4.4%
その他	0.6%
海外展開	0.4%
経営知識	19.3%
現場改善 生産性向上	3.1%
雇用 労務	3.1%
広告デザイン	3.5%
広報戦略	6.4%
債権保全 債権回収	0.1%
市場設定	4.6%
市場調査	0.9%
施策活用	14.6%
資金繰り	6.1%
事業計画策定	8.1%
事業連携	1.5%
商品デザイン	1.2%
商品開発	5.6%
知的財産	0.6%
地域資源活用	0.6%
販路提案	4.6%
法律	2.2%
総計	-

表 3-4-3-4 課題（中）地域別割合（項目抜粋）

課題（中）	B拠点	F拠点	E拠点	C拠点	G拠点	D拠点	H拠点	I拠点	J拠点	総計
I T 活用（情報発信）	4.4%	10.9%	7.1%	4.0%	8.6%	12.6%	14.5%	6.8%	10.7%	8.6%
I T 活用（内部管理）	1.7%	8.9%	2.3%	1.7%	1.7%	9.5%	4.5%	1.7%	8.5%	4.4%
その他	0.2%	0.0%	0.1%	0.3%	0.6%	0.1%	0.9%	0.0%	3.2%	0.6%
海外展開	0.2%	0.0%	0.0%	0.6%	1.1%	0.3%	0.8%	0.0%	0.6%	0.4%
経営知識	38.4%	4.5%	25.1%	15.3%	23.1%	17.2%	13.6%	20.6%	19.5%	19.3%
現場改善・生産性向上	1.2%	6.7%	1.0%	1.8%	2.0%	1.2%	4.9%	2.6%	6.6%	3.1%

3-4-4 分析①, 分析②から見えてきた既存カルテシステムの改善案

分析結果からよろず支援拠点における既存カルテシステムの課題（大）と課題（中）のすみ分けが困難になっているのが見受けられた。課題（大）、課題（中）の定義を見直し検討する必要があると考えられる。一案として、課題（大）と課題（中）を統合することも有効だと思われる。

また、ヒアリングから出てくる課題は、幅広く存在すると想定され、カルテシステムには相談内容の5W1Hを意識しながら記載し、相談の整理として出てきた単語や事柄が課題になると考えられる。

相談者の声を属性や時系列で比較することにより、各支援拠点における相談内容の特徴や変化を把握することも可能であると考えられる。しかし、入力された情報の中には、正確な情報把握を阻害するデータが多くあることが分かった。事実と所感を分ける、制度や補助金名は正式名称で記入する、といった入力ルールを設けることが考えられる。

また、「不明」が多く選択されている項目について、「未確認」、「教えてくれない」、「相談者がわかっていない」等の選択肢を設けることで、情報把握の状況が明確になるとと思われる。

セミナーや、施策活用については、専用の記載欄を設けて集計可能とすることで、施策利活用の状況を検証できると考えられる。また、将来的には支援機関ごとに個別の選択肢を設けられるような仕組みにし、業務効率化を図ることが望まれる。

本システムの改善を適宜行いながら、今後も定期的にテキストマイニングを実施し、相談者へ適切な支援を効果的・効率的にできる情報を提供することが、経営支援の高度化に繋がると考える。

3-5 (4) 相談記録・経営支援情報システムの要件定義・テーブル定義・プロトタイプ検証

3-5-1 プロトタイプシステム概要

相談記録・経営支援情報システムの要件定義・テーブル定義・プロトタイプ検証を行うために、本プロトタイプシステムを構築するシステムを検討した結果、セールスフォース・ジャパン社が提供しているクラウドサービスの「Salesforce」を採用した。さらに、Salesforce を基盤とした既存の支援機関向けのシステム（※）が存在したため、そのシステムを基盤として構築を行った。（※よろず支援拠点カルテシステムとは別のシステム）

【Salesforce】

株式会社セールスフォース・ジャパンが提供しているCRM・SFAサービスのクラウド型ソフトウェアである。Salesforce は、salesforce.com,Inc.の登録商標です。

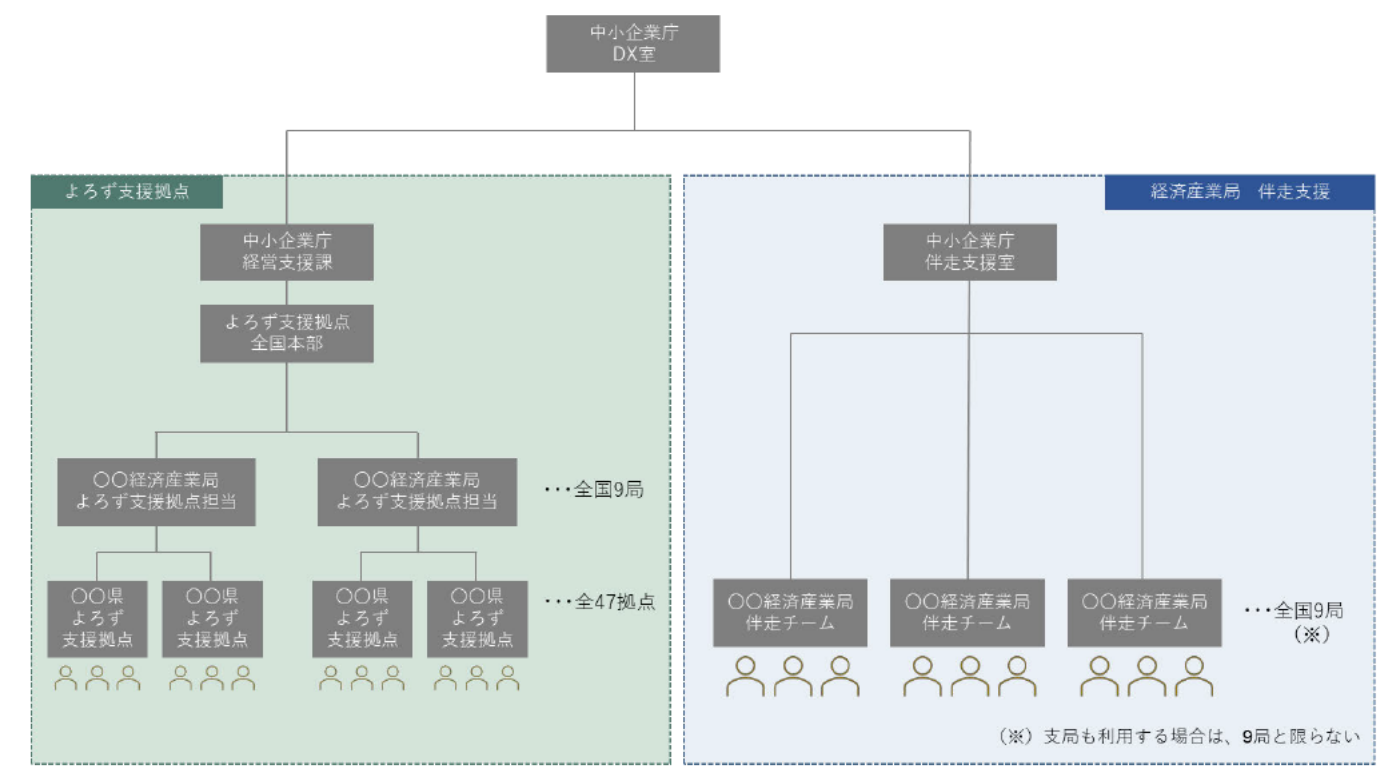
3-5-2 本システムの利用者

本システムの要件定義、およびプロトタイプシステムを構築するうえで想定した利用者を「表 3-5-2-1 本システム利用者一覧」に示す。また、利用者の組織関係図を「図 3-5-2-1 利用者組織関係図」に示す。

表 3-5-2-1 本システム利用者一覧

利用者		種別	概要
中小企業庁 DX 室		管理者	本システムの管理者。
よろず支援拠点	中小企業庁 経営支援課	管理者	よろず支援拠点を管轄する機関（担当課）。
	よろず支援拠点全国本部	管理者	全国のよろず支援拠点を管轄する全国本部。
	経済産業局 よろず支援拠点担当	管理者	自局管轄のよろず支援拠点を管轄する機関（担当）。
	よろず支援拠点	入力者	チーフコーディネーター、コーディネーターが在中し、中小企業・小規模事業者へ支援を行う。本システムの入力者にあたる。
経済産業局 伴走支援	中小企業庁 伴走支援室	管理者	伴走支援を管轄する機関（担当課）。
	経済産業局 伴走チーム	入力者	自局担当者および、外部と連携し中小企業・小規模事業者へ支援を行う。本システムの入力者にあたる。

図 3-5-2-1 利用者組織関係図



3-5-3 システム構築～実運用において想定される調査・検討事項

本事業の仕様書に準じて、本システムを構築し、実運用するうえで想定される事項について調査・検討を行った。調査・検討結果を「表 3-5-3-1 システム構築～実運用で想定される事項の調査・検討結果一覧」に示す。

表 3-5-3-1 システム構築～実運用で想定される事項の調査・検討結果一覧

調査・検討事項	調査・検討結果	プロトタイプ システム実装
ログイン（アカウント管理）	Salesforce のログイン仕様を活用し、アカウント（利用者）ごとに ID とパスワードを設定のうえ、ログイン認証する仕様とし本プロトタイプシステムへ実装する。	○
利用者に応じた閲覧制限設定	本プロトタイプシステムにて利用者の所属団体に応じて、閲覧制限設定を行う。 設定については、「3-5-9」に示す。	○
相談、経営支援情報記録の入力、閲覧、編集、削除	相談、経営支援情報記録の入力、閲覧、編集、削除が可能な仕様とし本プロトタイプシステムへ実装する。入力情報の閲覧範囲は、上記の閲覧制限設定のとおりとする。	○
ユースケースごとの機能検討	検討結果は、「3-4」に示したとおり。	
経営支援情報の評価機能	よろず支援拠点、経済産業局伴走支援ともに、本プロトタイプシステムに、相談、経営支援情報記録の蓄積データを	○

	集計した、ダッシュボードを実装する。 経済産業局伴走支援のみの機能としては、成果指標の登録機能を本プロトタイプシステムへ実装する。	
ミラサポコネクト API 連携方法の検討	検討結果を、「3-5-12」に示す。	
本システム整備が既存事業に与える影響の検討	検討結果を、「3-5-13」に示す。	
流動情報が追加・変更する事業に対するシステムの対応方法の検討	流動情報について、項目の追加・変更等が想定される。システム運営企業にて、システムへの反映を行う想定とする。	
既存情報引継ぎ方法の検討	検討結果を、「3-5-14」に示す。	

3-5-4 プロトタイプシステム構築の対象機能

上記「3-5-3」に示した要件定義を基に、本プロトタイプシステム構築を行う機能を、「表 3-5-4-1 プロトタイプシステム構築対象機能一覧」に示す。

尚、経済産業局が行う企業訪問については、本プロトタイプシステムへの実装は不要となった。

表 3-5-4-1 プロトタイプシステム構築対象機能一覧

支援機関	事業所 基本情報	相談者	相談記録・経 営支援情報	ダッシュ ボード	成果指標
よろず支援拠点	○	○	○	○	
経済産業局伴走支援	○	○	○	○	○

3-5-5 プロトタイプシステムの機能別要件定義

上記「3-5-4」に示した本プロトタイプシステム構築の対象機能における要件定義の検討結果を、「表 3-5-5-1 プロトタイプシステム機能別要件定義」に示す。

表 3-5-5-1 プロトタイプシステム機能別要件定義

支援機関	機能	検討結果
よろず支援拠点、 経済産業局伴走支援	事業所基本情報	・事業者ごとに情報を管理する。 ・郵便番号検索を設け、入力作業の軽減を図る。 ・数値データ等は入力規制を設けて一定のデータが登録できるようにする。
	相談者	・事業所に紐づけて、相談者ごとに情報を管理する。

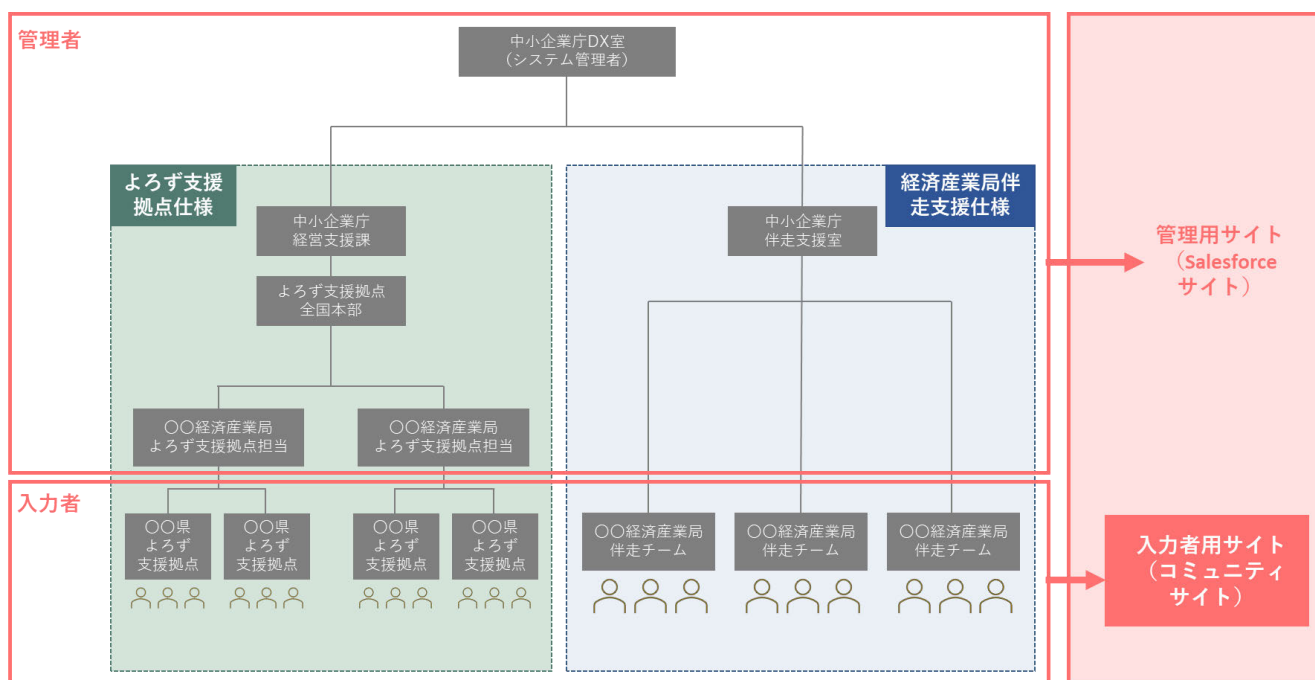
	相談記録・経営支援情報	・伴走支援フェーズ（課題設定フェーズ、課題解決フェーズ）ごとに支援案件を登録し、支援案件に紐づけて支援履歴を登録する。支援履歴は1回の支援ごとに1つ登録し、詳細の支援内容を入力する。 ・よろず支援拠点仕様では、支援履歴で課題（中）の登録を行う。
	ダッシュボード	・登録データを基に、事業所数、支援案件、支援履歴数を集計したグラフを表示する。
経済産業局伴走支援	成果指標	・成果指標を算出するための、因数のみ入力する。 ・登録データはレポート出力（Excel 形式）可能とする。

3-5-6 プロトタイプシステム概念図

本プロトタイプシステムの概念を、「図 3-5-6-1 プロトタイプシステム概念図」に示す。管理者と入力者で別の画面構築を行う。同じ環境上に構築するが、管理者は管理者用サイト（Salesforce サイト）へのログインとなり、入力者は入力者用サイト（コミュニティサイト）へのログインとなる。

また、一部機能と項目が異なるため、よろず支援拠点仕様と経済産業局伴走支援仕様それぞれを構築する。

図 3-5-6-1 プロトタイプシステム概念図

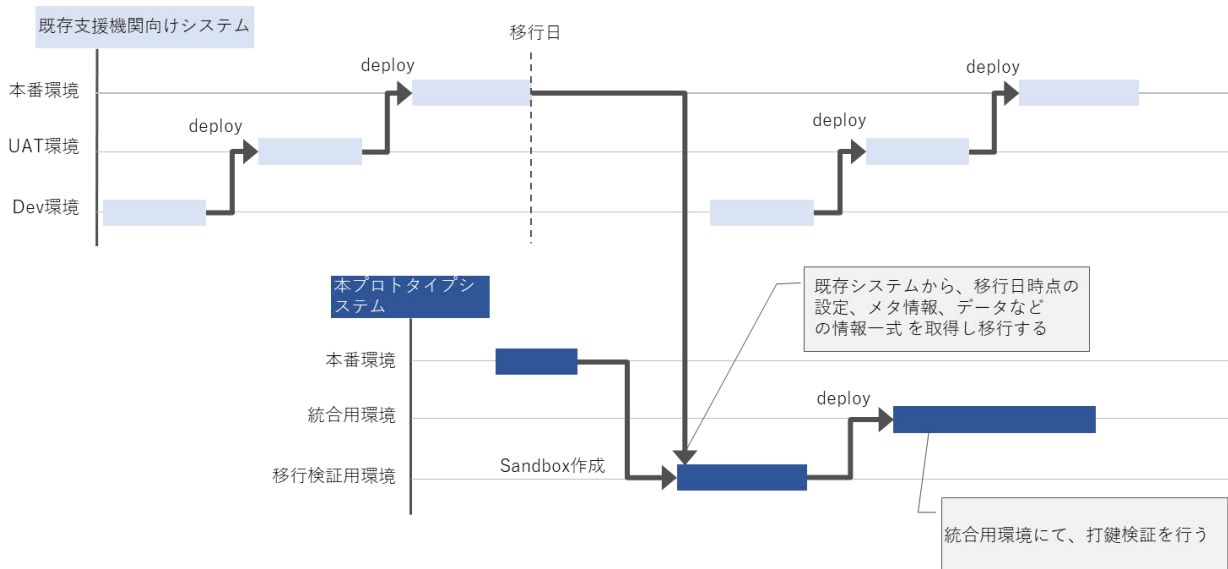


3-5-7 プロトタイプシステム構築環境

「3-5-1」に記載のとおり、本システム環境は既存の別支援機関も利用していることから、既存利用者と干渉しないよう、別環境を用意し本プロトタイプシステムを構築した。

環境構築は、「[図3-5-7-1 プロトタイプシステム環境構築手順](#)」のとおり行った。

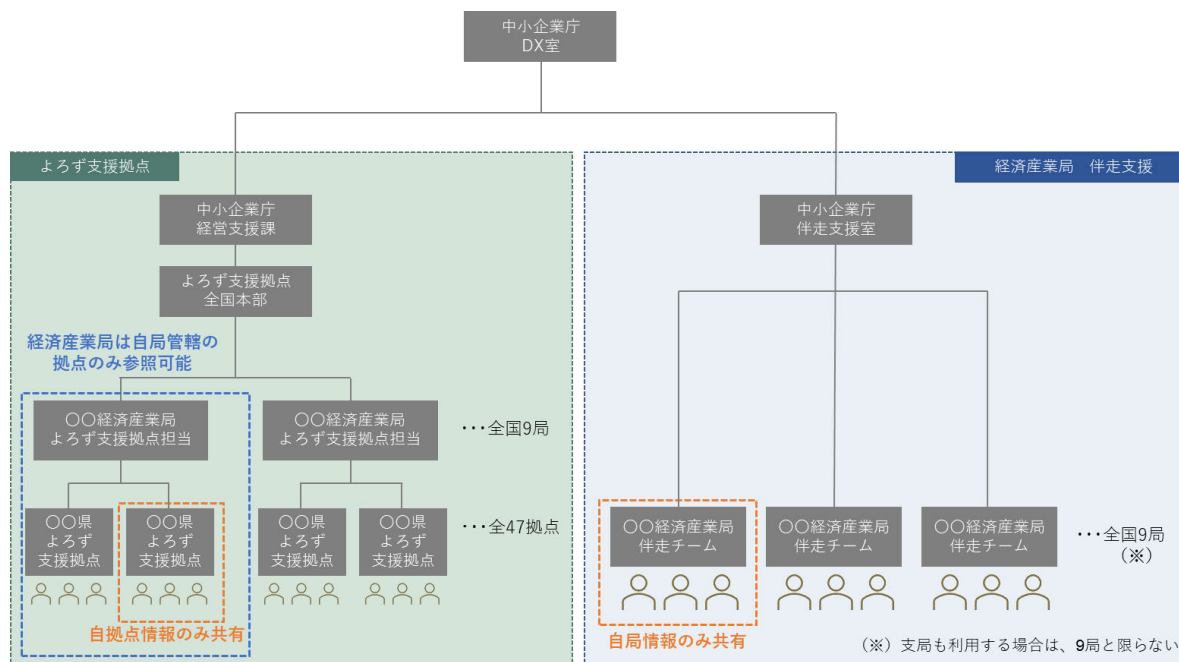
図 3-5-7-1 プロトタイプシステム環境構築手順



3-5-8 閲覧制限設定

本プロトタイプシステムの閲覧設定を「図 3-5-8-1 プロトタイプシステム閲覧設定」に示す。上部団体は、傘下団体の情報を閲覧可能とする。

図 3-5-8-1 プロトタイプシステム閲覧設定

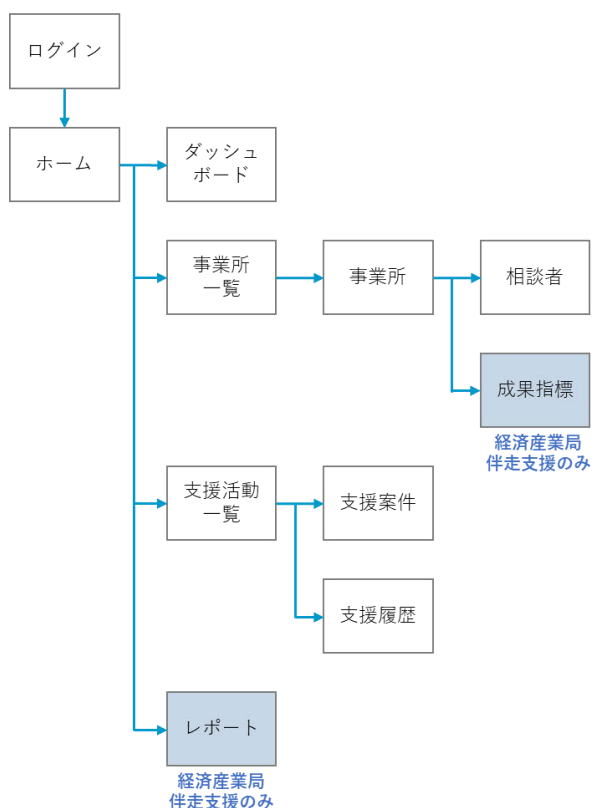


3-5-9 画面遷移図

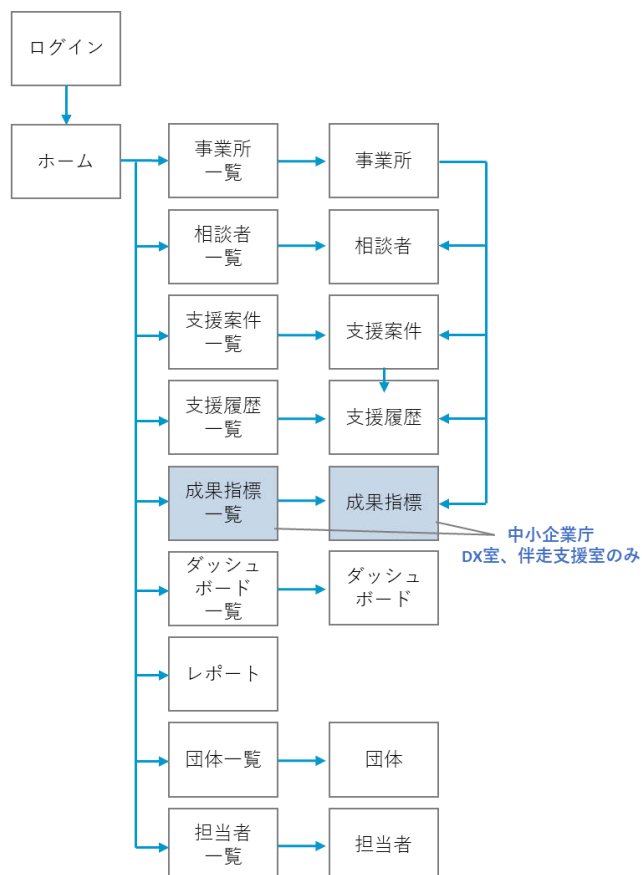
本プロトタイプシステムの画面遷移を「図 3-5-9-1 プロトタイプシステム画面遷移図」に示す。入力者、閲覧者で画面遷移が異なる。

図 3-5-9-1 プロトタイプシステム画面遷移図

<入力者>



<管理者>



3-5-10 画面イメージ

本プロトタイプシステムは、「3-5-6」に記載したとおり、入力者と、管理者でログイン先が異なるため、画面も異なる。また、入力者については、よろず支援拠点仕様と経済産業局伴走支援仕様があるため、機能によっては画面イメージが異なる。以上を踏まえ、各画面イメージを示す（※ただし、よろず支援拠点仕様と経済産業局伴走支援仕様の微細な項目の違いについては触れない。）

尚、画面イメージはサンプルデータである。

①ログイン画面

本プロトタイプシステムへログインするには、ログイン ID、パスワードを入力し、認証する。ログイン画面を「図 3-5-10-1 ログイン画面（入力者）」、「図 3-5-10-2 ログイン画面（管理者）」に示す。

図 3-5-10-1 ログイン画面（入力者）

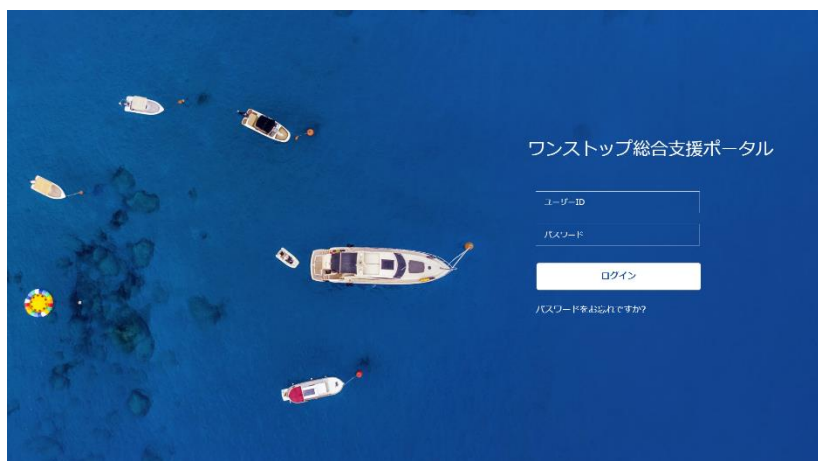


図 3-5-10-2 ログイン画面（管理者）



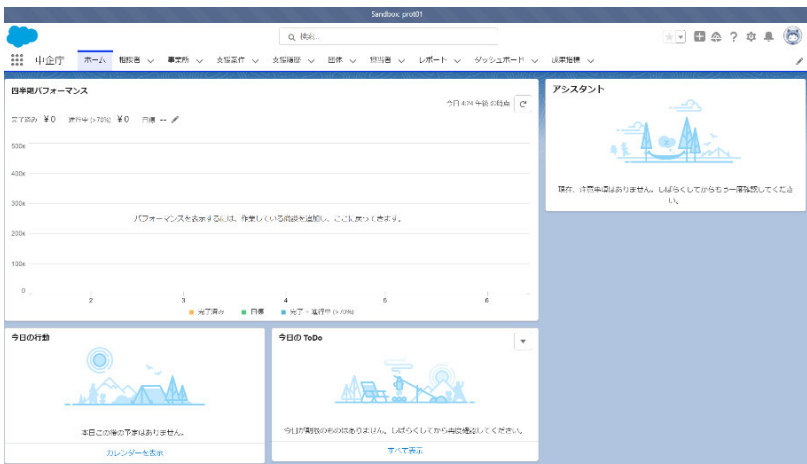
②ホーム画面

ホーム画面を「図 3-5-10-3 ホーム画面（入力者）」、「図 3-5-10-4 ホーム画面（管理者）」に示す。入力者は、ダッシュボードがホーム画面に表示される。

図 3-5-10-3 ホーム画面（入力者）



図 3-5-10-4 ホーム画面（管理者）



③事業所一覧

事業所一覧画面を「図 3-5-10-5 事業所一覧（入力者）」、「図 3-5-10-6 事業所一覧（管理者）」に示す。
事業所一覧から、事業所の新規登録が行える。

図 3-5-10-5 事業所一覧（入力者）

	事業所名 (正式名称 例1...)	代表者名	会社形態	事業所住所 (市区)	TEL (半角数字)	業種大分類	業種中分類	よう...	団体名	作成者
1	☐ A株式会社	経営 太...	企業 (法人)	豊島区	0000000000	D. 建設業	08 設備工事業	☐	HALようす支...	HALようす支...
2	☐ B株式会社	経営 二...	創業前	中野区	0000000000	L. 学術...	72 専門サー...	☒	HALようす支...	HALようす支...
3	☐ E商事株式会社	伴走 太...	企業 (法人)	品川区	0000000000	K. 不動産業	69 不動産業	☐	HALようす支...	HALようす支...
4	☐ F株式会社	伴走 二...	企業 (法人)	新宿区	0000000000	O. 教育...	82 その他の...	☒	HALようす支...	HALようす支...
5	☐ H株式会社	経営 三...	企業 (法人)	渋谷区	0000000000	I. 卸売...	56 各種商品	☐	HALようす支...	HALようす支...
6	☐ I株式会社	伴走 一...	企業 (法人)	北区	0000000000	H. 運輸...	43 道路旅客...	☐	HALようす支...	HALようす支...
7	☐ J株式会社	支援 五...	企業 (個人)	荒川区	0000000000	P. 医療...	83 医療業	☐	HALようす支...	HALようす支...
8	☐ K株式会社	支援 太...	企業 (個人)	文京区	0000000000	M. 宿泊...	76 飲食店	☐	HALようす支...	HALようす支...
9	☐ L株式会社	支援 花...	企業 (法人)	中央区	0000000000	N. 生活...	79 その他の...	☒	HALようす支...	HALようす支...
10	☐ M株式会社	事業 支...	企業 (法人)	豊島区	0000000000	M. 宿泊...	76 飲食店	☐	HALようす支...	HALようす支...
11	☐ N株式会社	支援 四...	企業 (法人)	千代田区	0000000000	I. 卸売...	50 各種商品	☐	HALようす支...	HALようす支...
12	☐ O株式会社	経営 一...	企業 (法人)	台東区	0000000000	H. 運輸...	43 道路旅客...	☐	HALようす支...	HALようす支...

図 3-5-10-6 事業所一覧（管理者）

	事業所名 (正...	代表者名	会社形態	事業所住所...	TEL (半角数字)	業種大分類	業種中分類	よう...
1	☐ A株式会社	経営 太郎	企業 (法人)	豊島区	0000000000	D. 建設業	08 設備工事業	☐
2	☐ B株式会社	経営 二郎	創業前	中野区	0000000000	L. 学術研究、専門・技術サービス業	72 専門サービス業 (他に分類されないもの)	☒
3	☐ E商事株式会社	伴走 太郎	企業 (法人)	品川区	0000000000	K. 不動産業、物品賃貸業	69 不動産賃貸業・管理業	☐
4	☐ F株式会社	伴走 二郎	企業 (法人)	新宿区	0000000000	O. 教育、学芸支援業	82 その他の教育、学芸支援業	☒
5	☐ H株式会社	経営 三郎	企業 (法人)	渋谷区	0000000000	I. 卸売業、小売業	56 各種商品小売業	☐
6	☐ I株式会社	伴走 一郎	企業 (法人)	北区	0000000000	H. 運輸業、郵便業	43 道路旅客運送業	☐
7	☐ J株式会社	支援 太郎	企業 (個人)	荒川区	0000000000	P. 医療、福祉	83 医療業	☐
8	☐ K株式会社	支援 太郎	企業 (個人)	文京区	0000000000	M. 宿泊業、飲食サービス業	76 飲食店	☐
9	☐ L株式会社	支援 花子	企業 (法人)	中央区	0000000000	N. 生活関連サービス業、娯楽業	79 その他の生活関連サービス業	☒
10	☐ M株式会社	事業 支援	企業 (法人)	豊島区	0000000000	M. 宿泊業、飲食サービス業	76 飲食店	☐
11	☐ N株式会社	支援 四郎	企業 (法人)	千代田区	0000000000	I. 卸売業、小売業	50 各種商品卸売業	☐
12	☐ O株式会社	経営 一太郎	企業 (法人)	台東区	0000000000	H. 運輸業、郵便業	43 道路旅客運送業	☐

④事業所

事業所画面は、入力者においてよろず支援拠点仕様と、経済産業局伴走支援仕様で異なる。
入力者（よろず支援拠点仕様）は、「図 3-5-10-7 事業所（入力者_よろず支援拠点仕様）」のとおり、事業所画面に事業所の基本情報と、相談者情報が表示される。
事業所の基本情報については、「図 3-5-10-8 事業所基本情報詳細（入力者_よろず支援拠点仕様）」のとおりの表示となる。

図 3-5-10-7 事業所（入力者_よろず支援拠点仕様）

検索...

HALよろず担当者

事業所

支援活動

事業所

〇〇株式会社

編集

削除

住所

東京都豊島区東池袋1-18-1

TEL (平角数字のみ)

00000000000

> 事業所概要

> 産業分類/事業所区分

> その他

相談者 (2)

新規

2名の項目・数値前に更新されました

	姓	名	部署	役職	連絡先電話番号 (単...)	メールアドレス
1	経営	太郎	営業部	統括部長	00000000000	
2	経営	一郎		代表取締役	00000000000	

すべて表示

図 3-5-10-8 事業所基本情報（入力者_よろず支援拠点仕様）

検索...

HALよろず担当者

事業所

支援活動

事業所

〇〇株式会社

編集

削除

住所

東京都豊島区東池袋1-18-1

TEL (平角数字のみ)

00000000000

> 事業所概要

事業所名 (正式名称 例: 株式会社〇〇)

〇〇株式会社

✓

代表者名

経営

✓

代表者名 (全角カナ)

クイエイ

✓

会社形態

企業 (法人)

✓

事業所住所

日本

〒120-0013

東京都 豊島区

東池袋1-18-1

✓

事業所住所

地図

✓

事業所住所

TEL (平角数字のみ)

00000000000

✓

事業所住所

ホームページ (URL)

https://www.hal-j.co.jp/

✓

入力者（経済産業局伴走支援仕様）は、「図 3-5-10-9 事業所（入力者_経済産業局伴走支援仕様）」の
おり、事業所画面に事業所の基本情報と、相談者情報、成果指標情報が表示される。

図 3-5-10-9 事業所（入力者_経済産業局伴走支援仕様）

検索...

HAL伴走担当者

事業所

支援活動

レポート

事業所

〇〇株式会社

編集

削除

住所

東京都豊島区東池袋1-18-1

TEL (平角数字のみ)

00000000000

> 事業所概要

> 産業分類/事業所区分

> その他

成果指標 (1)

新規

2名の項目・数値前に更新されました

	姓	名	部署	役職	連絡先電話番号 (単角...)	メールアドレス
1	伴走	太郎		代表取締役	00000000000	
2	伴走	二郎	営業企画部	部長	00000000000	

すべて表示

管理者は「図 3-5-10-10 事業所（管理者）」のとおり、事業所画面に事業所の基本情報、相談者情報、支援案件、支援履歴、成果指標情報が表示される。ただし、よろず支援拠点の管理者については、成果指標は表示されない。

事業所の基本情報については、「図 3-5-10-11 事業所基本情報詳細（管理者）」のとおりの表示となる。

図 3-5-10-10 事業所（管理者）

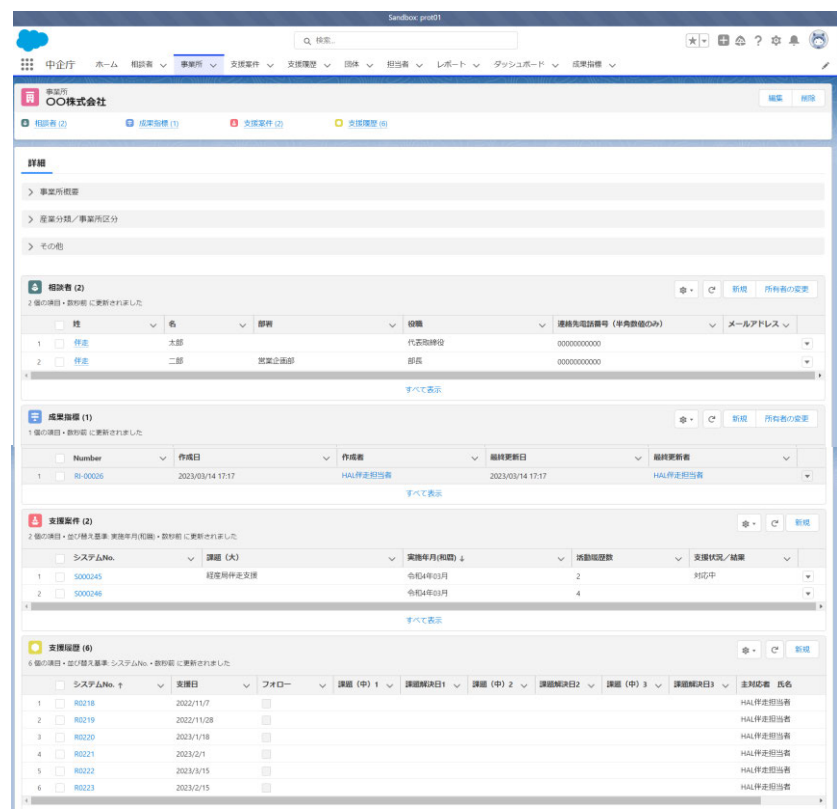
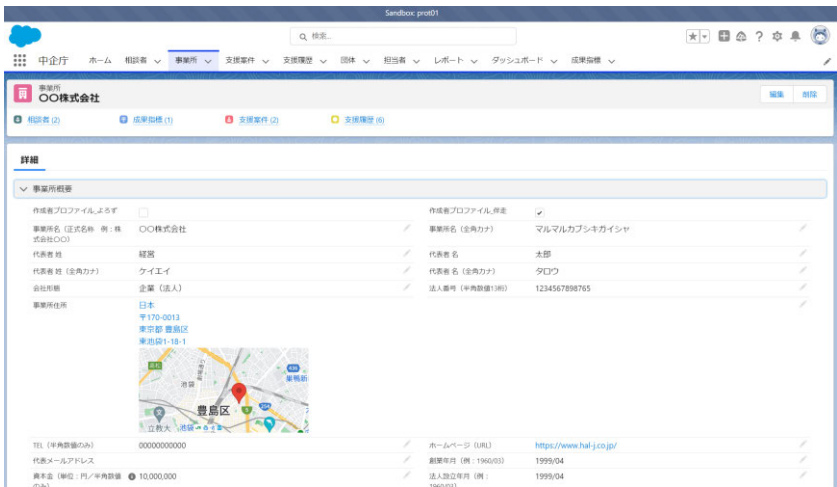


図 3-5-10-11 事業所基本情報詳細（管理者）



⑤相談者詳細

相談者詳細画面を「図 3-5-10-12 相談者詳細（入力者）」、「図 3-5-11-13 相談者詳細（管理者）」に示す。

図 3-5-10-12 相談者詳細（入力者）



図 3-5-10-13 相談者詳細（管理者）



⑤支援活動一覧（入力者）

入力者画面では、「図 3-5-10-14 支援活動一覧」のとおり、支援案件に支援履歴を紐づけて支援活動一覧にて表示する。管理者画面は支援案件と支援履歴は別々の一覧で表示する（次項「⑥支援案件一覧、支援履歴一覧（管理者）」参照）

図 3-5-10-14 支援活動一覧



⑥支援案件一覧、支援履歴一覧（管理者）

管理者画面は支援案件一覧と支援履歴一覧は別画面での表示となる。「図 3-5-10-15 支援案件一覧」、「図 3-5-10-16 支援履歴一覧」に示す。

図 3-5-10-15 支援案件一覧

中企庁

ホーム

相談者

事業所

支援案件

支援履歴

団体

担当者

レポート

ダッシュボード

成果指標

検索

検索

支援案件

すべて表示

新規

インポート

印刷用に表示

10

他の項目に並び替え基準: 事業所名・検索条件: すべての支援案件・数が多い更新されました

検索

並び替え

印刷

リセット

編集

削除

シス...	事業所名 ↑	課題設定...	レコードタイプ	課題 (大)	支援状況/結果	課題...	選...	団体名	作成者	
1	S000245	〇〇株式会社	2023/02/15	課題解決フェーズ	経営局併走支援	対応中	2	HAL伴走チーム	HAL伴走担当者	
2	S000246	〇〇株式会社	2022/11/07	課題設定フェーズ			4	HAL伴走チーム	HAL伴走担当者	
3	S000247	〇〇株式会社	2022/10/04	課題設定フェーズ			3	HALよろず支援拠点	HALよろず担当者	
4	S000248	〇〇株式会社	2023/02/14	課題設定フェーズ	経営改善・事業再生	対応中	2	HALよろず支援拠点	HALよろず担当者	
5	S000249	A株式会社	2021/01/11	課題設定フェーズ			1	HALよろず支援拠点	HALよろず担当者	
6	S000250	A株式会社	2021/03/18	課題解決フェーズ	売上拡大	対応中	2022/05/10	3	HALよろず支援拠点	HALよろず担当者
7	S000259	B株式会社	2023/01/10	課題設定フェーズ			1	HALよろず支援拠点	HALよろず担当者	
8	S000260	B株式会社	2023/02/01	課題解決フェーズ	創業	対応中	2	HALよろず支援拠点	HALよろず担当者	
9	S000253	E商事株式会社	2021/05/10	課題解決フェーズ	経営改善・事業再生	対応中	1	HALよろず支援拠点	HALよろず担当者	
10	S000254	E商事株式会社	2021/04/05	課題設定フェーズ			1	HALよろず支援拠点	HALよろず担当者	

図 3-5-10-16 支援履歴一覧

シス...	事業所	支援日	支援時間	支援形態	支援内容	主対応者	氏名	テーマ
1	R0218	〇〇株式会社	2022/11/07	9:00	10:30	来訪 (対面)	先方事業所	HAL伴走担当者
2	R0219	〇〇株式会社	2022/11/08	10:00	11:45	訪問 (対面)	先方事業所	HAL伴走担当者
3	R0220	〇〇株式会社	2023/01/18	13:00	14:00	訪問 (対面)	先方事業所	HAL伴走担当者
4	R0221	〇〇株式会社	2023/02/01	13:30	15:15	来訪 (対面)	先方事業所	HAL伴走担当者
5	R0222	〇〇株式会社	2023/03/15	9:30	11:00	来訪 (対面)	先方事業所	HAL伴走担当者
6	R0223	〇〇株式会社	2023/02/15	9:30	10:15	オンライン	オンライン (WEB会議)	HAL伴走担当者
7	R0224	〇〇株式会社	2022/10/04	10:00	10:45	来訪 (対面)	実地機関	HALよろず担当者
8	R0225	〇〇株式会社	2022/10/26	14:00	15:30	来訪 (対面)	実地機関	HALよろず担当者
9	R0226	〇〇株式会社	2022/12/12	15:00	16:45	訪問 (対面)	出講相談	HALよろず担当者
10	R0227	〇〇株式会社	2023/02/14	9:45	10:30	来訪 (対面)	実地機関	HALよろず担当者
11	R0228	〇〇株式会社	2023/02/22	10:00	11:00	来訪 (対面)	実地機関	HALよろず担当者
12	R0229	A株式会社	2021/01/14	10:00	11:30	訪問 (対面)	出講相談	HALよろず担当者
13	R0230	A株式会社	2021/03/18	10:00	11:00	来訪 (対面)	実地機関	HALよろず担当者
14	R0231	A株式会社	2021/04/13	11:00	11:15	来訪 (対面)	実地機関	HALよろず担当者
15	R0232	A株式会社	2021/04/14	11:00	12:00	来訪 (対面)	実地機関	HALよろず担当者
16	R0245	B株式会社	2023/01/10	11:00	12:00	来訪 (対面)	実地機関	HALよろず担当者
17	R0246	B株式会社	2023/02/01	10:00	11:00	来訪 (対面)	実地機関	HALよろず担当者

⑦支援案件

支援案件画面を「図 3-5-10-17 支援案件（入力者）」、「図 3-5-10-18 支援案件（管理者）」に示す。

図 3-5-10-17 支援案件（入力者）

図 3-5-10-18 支援案件（管理者）

システムNo.	支援日	フォロー	課題(中)1	課題解決日1	課題(中)2	課題解決日2	課題(中)3	課題解決日3	主担当者
1	R0227	2023/2/14	作成済(情報発掘)		商品開発				HALようす部
2	R0228	2023/2/22	作成済(情報発掘)		商品開発				HALようす部

⑧支援履歴

支援画面は、入力者においてよろず支援拠点仕様と、経済産業局伴走支援仕様で異なる。

入力者（よろず支援拠点仕様）を、「図 3-5-10-19 支援履歴（入力者_よろず支援拠点仕様）」、入力者（経済産業局伴走支援仕様）を、「図 3-5-10-20 支援履歴（入力者_経済産業局伴走支援仕様）」に示す。

図 3-5-10-19 支援履歴（入力者_よろず支援拠点仕様）

支援履歴

事業所：〇〇株式会社

課題解決フェーズ 経営改善・事業再生

保存 一覧へ戻る

基本情報

* 支援日 2023/03/27

* 支援時刻 --なし--

* 支援形態 --なし--

事業所主担当者 氏名

事業所副担当者2 氏名

主対応者カテゴリ --なし--

副対応者1カテゴリ --なし--

副対応者2カテゴリ --なし--

副対応者（その他）氏名

連携（同属）支援機関等カテゴリ

* 支援場所 --なし--

事業所副担当者1 氏名

主対応者 氏名 HALよろず担当者

副対応者1 氏名

副対応者2 氏名

連携（同属）支援機関等氏名

課題（中） ※支援した課題（中）を最大3つまで選択してください。

① 課題（中） --なし-- その他詳細

課題決定日 課題解決日

② 課題（中） --なし-- その他詳細

課題決定日 課題解決日

③ 課題（中） --なし-- その他詳細

課題決定日 課題解決日

支援履歴記録詳細

テーマ

キーワード

フォロー

図 3-5-10-20 支援履歴（入力者_経済産業局伴走支援仕様）

支援履歴

事業所：〇〇株式会社

課題解決フェーズ 経営局伴走支援

保存 一覧へ戻る

基本情報

* 支援日 2023/03/27

* 支援時刻 --なし--

* 支援形態 --なし--

事業所主担当者 氏名

事業所副担当者2 氏名

主対応者カテゴリ --なし--

副対応者1カテゴリ --なし--

副対応者2カテゴリ --なし--

副対応者（その他）氏名

* 支援場所 --なし--

事業所副担当者1 氏名

主対応者 氏名 HAL伴走担当者

副対応者1 氏名

副対応者2 氏名

支援履歴記録詳細

テーマ

キーワード

フォロー

支援内容

管理者の支援履歴画面は、「図 3-5-10-21 支援履歴（管理者）」のとおりである。

図 3-5-10-21 支援履歴（管理者）

Sandbox (prod01)

中企庁 ホーム 相談者 事業所 支援案件 日報 担当者 レポート ダッシュボード 成果指標

支援履歴 R0224

表示する関連リストはありません

詳細	
事業所	〇〇株式会社
支援案件	5000247
基本情報	
支援日	2022/10/04
支援時刻	From 10:00 To 10:45
支援形態	来訪（対面）
支援場所	実務機関
事業所主担当者 氏名	事業所副担当者1 氏名
事業所副担当者2 氏名	主対応者 氏名 HALよろず担当者
主対応者カテゴリ	副対応者1 氏名
副対応者1カテゴリ	副対応者2 氏名
副対応者2カテゴリ	副対応者（その他）氏名
連携（同属）支援機関等カテゴリ	連携（同属）支援機関等氏名
連携（同属）支援機関等氏名	連携（同属）支援機関等氏名
備考	
備考	
支援履歴記録詳細	
テーマ	初回相談
プレ注	

⑨ダッシュボード

ダッシュボード画面は「図 3-5-10-22 ダッシュボード（入力者）」、「図 3-5-10-23 ダッシュボード（管理者）」のとおりである。尚、入力者側は、HOME 画面に表示されるため、HOME 画面と同様の画面となる。

図 3-5-10-22 ダッシュボード（入力者）

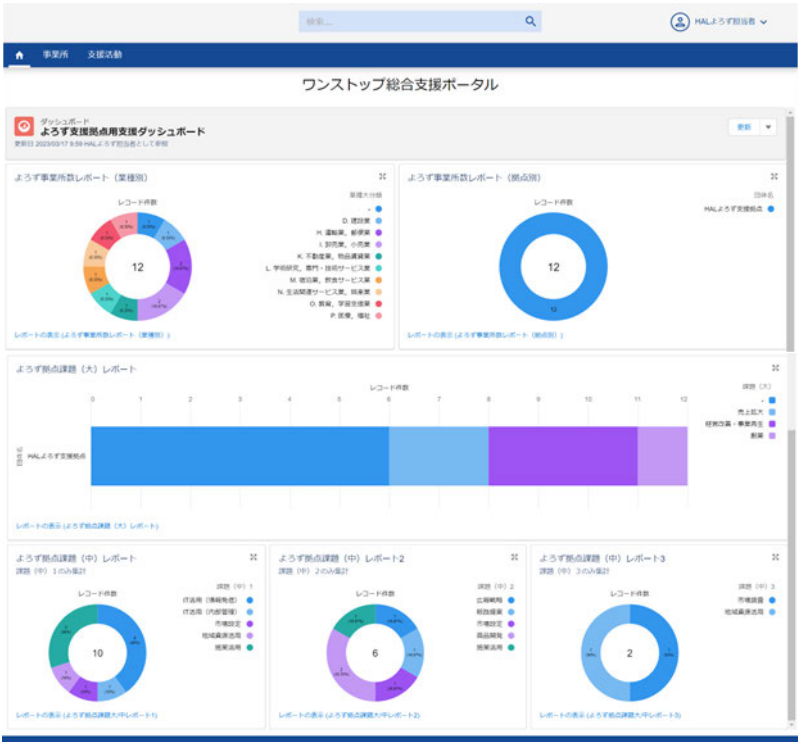
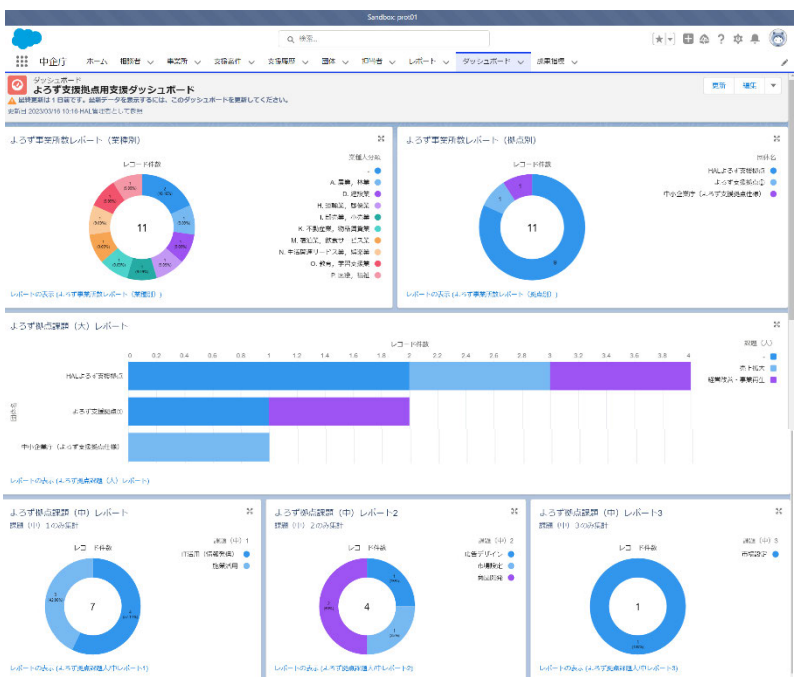


図 3-5-10-23 ダッシュボード（管理者）



⑩成果指標

成果指標は経済産業局伴走支援対象者のみの機能となる。伴走支援対象事業所における付加価値額や売上高等の数値を登録。

⑪レポート出力

レポート出力は入力者においては、成果指標結果を出力する目的のため、経済産業局伴走支援対象者のみの機能としている。管理者については、蓄積データを出力するため全利用者が利用可能。

3-5-1 1 打鍵検証

調査・検討したシステムを活用し各業務及び事業の効率化・経営支援の高度化が見込まれるかどうかについて、本プロトタイプシステムの打鍵検証を行った。

打鍵期間および打鍵対象者

<打鍵期間>

令和5年2月13日（月）～3月3日（金）

<打鍵対象者>

中小企業庁が選抜したよろず支援拠点関係者18名と全国の各地方局の伴走支援担当者48名を対象とした。

打鍵検証方法

本プロトタイプシステムの実施目的と操作方法を説明後、数日間自由に操作いただいた。打鍵者からの意見、要望は、機能面評価シート（アンケート）での回収、および一部ヒアリングにて行った。

尚、打鍵に用いた機能面評価シート（アンケート）は「別紙②_プロトタイプシステムに関するアンケート」にて報告する。

以下に評価方法を示す。

<よろず支援拠点>

・評価指標①

よろず支援拠点における評価機能を「表 3-5-11-1 よろず支援拠点実現機能」、評価視点を「表 3-5-11-2 よろず支援拠点評価視点」に示す。打鍵者は、機能ごとに各評価視点について5段階評価した。

表 3-5-11-1 よろず支援拠点実現機能

実現機能	
①	事業所
②	相談者
③	課題設定フェーズ 支援案件
④	課題設定フェーズ 支援履歴
⑤	課題解決フェーズ 支援案件
⑥	課題解決フェーズ 支援履歴

表 3-5-11-2 よろず支援拠点評価視点

評価視点	
①	業務を行ううえで便利そうか
②	登録 更新をスムーズ、正確、短時間で記録できそうか
③	操作しやすく、操作ミスを起こしにくそうか
④	業務に役立つ機能を有しているか
⑤	登録 変更を行ううえで処理スピードは十分か
⑥	業務活動の変化、業務量の増加に対応できそうか

・評価指標②

機能ごとにデータ項目の漏れや追加があるかを確認した。

< 経済産業局伴走支援 >

・評価指標①

経済産業局伴走支援における評価機能を「表 3-5-11-3 経済産業局伴走支援実現機能」、評価視点を「表 3-5-11-4 経済産業局伴走支援評価視点」に示す。打鍵者は、機能ごとに各評価視点について5段階評価した。

表 3-5-11-3 経済産業局伴走支援実現機能

実現機能	
①	事業所
②	相談者
③	課題設定フェーズ 支援案件
④	課題設定フェーズ 支援履歴
⑤	課題解決フェーズ 支援案件
⑥	課題解決フェーズ 支援履歴
⑦	成果指標

表 3-5-11-4 経済産業局伴走支援評価視点

評価視点	
①	業務を行ううえで便利そうか
②	登録 更新をスムーズ、正確、短時間で記録できそうか
③	操作しやすく、操作ミスを起こしにくそうか
④	業務に役立つ機能を有しているか
⑤	登録 変更を行ううえで処理スピードは十分か
⑥	業務活動の変化、業務量の増加に対応できそうか

・評価指標②

機能ごとにデータ項目の漏れや追加があるかを確認した。

打鍵結果

よろず支援拠点関係者からは4件、経済産業局伴走支援担当者からは19件の機能面評価シート（アンケート）回答があった。

以下より機能面評価シート（アンケート）の集計結果、および評価コメントからの見解を記載する。

尚、図の吹き出しには、打鍵者からのコメントを記載している。

■ よろず支援拠点

< 事業所と相談者 >

事業所に関連する基本情報（事業所と相談者）については、定型的な入力画面・項目入力について項目数を減らす、入力負荷を減らすなどの工夫により、現在利用中の既存システムまたはその他仕組みと変わらないとの評価と見ることができる。（図 3-5-11-1 【事業所】、図 3-5-11-2 【相談者】 参照）

図 3-5-11-1 【事業所】

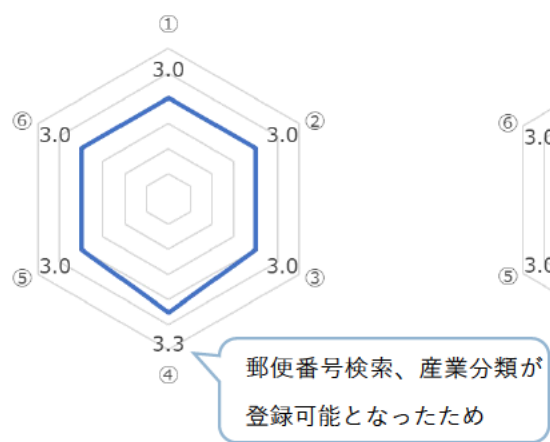
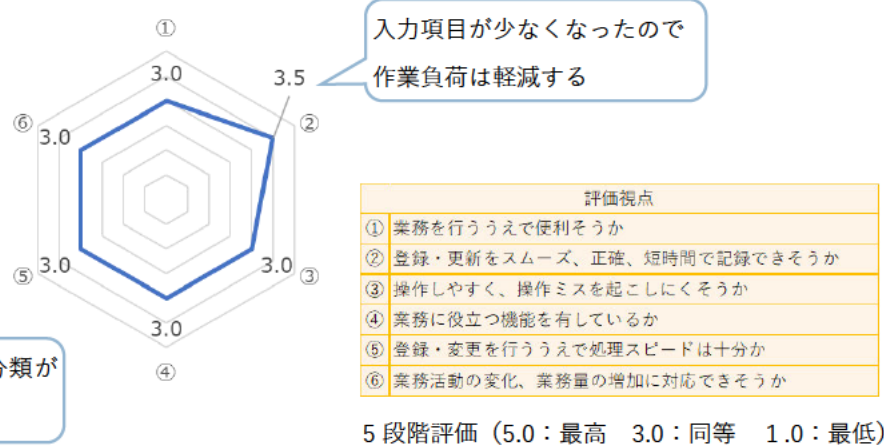


図 3-5-11-2 【相談者】



< 課題設定フェーズ 支援案件 >

評価視点②以外の項目は平均値が 3.0（同等）未満（図 3-5-11-3【課題設定フェーズ 支援案件】参照）であるが、評価のばらつき（図 3-5-11-4【課題設定フェーズ 支援案件】参照）と評価コメントより「本項目の必要性が不明確」「課題設定フェーズを登録する必要性が不明確」といった機能面以外の要因がある。本機能がなぜ必要になるのか、何を登録するのかという業務面の説明を行うことにより現業部署の理解を得ることで評価が変わることが想定できる。

図 3-5-11-3 【課題設定フェーズ 支援案件】

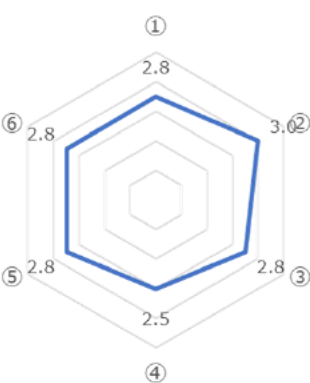
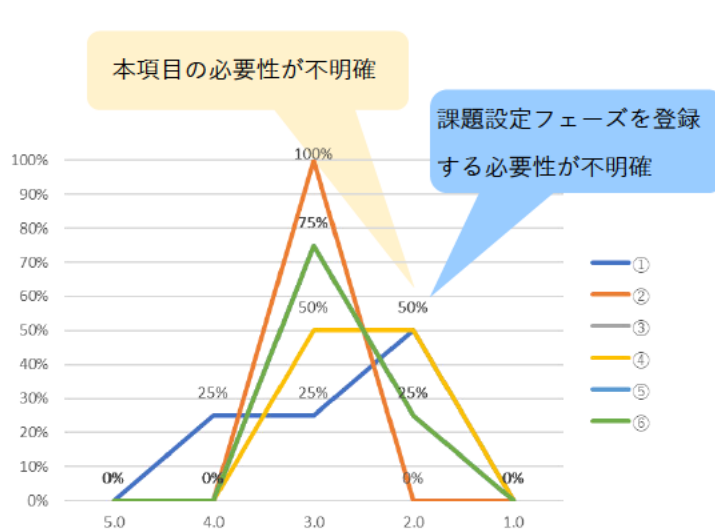


図 3-5-11-4 【課題設定フェーズ 支援案件】



<課題設定フェーズ 支援履歴>

平均値が 3.0（同等）未満（図 3-5-11-5【課題設定フェーズ 支援履歴】参照）の評価視点が4つ有るが、評価のばらつき（図 3-5-11-6【課題設定フェーズ 支援履歴】参照）と評価コメントより「操作しやすく、操作ミスを起こしにくい」工夫を取り入れることで改善が期待でき、業務効率化の評価項目である「②登録・更新をスムーズ、正確、短時間でできそうか」「⑥業務活動の変化、業務量の増加に対応できそうか」について現行の仕組みと同等以上との評価が出ており、新システムへの期待があると想定できる。

図 3-5-11-5【課題設定フェーズ 支援履歴】

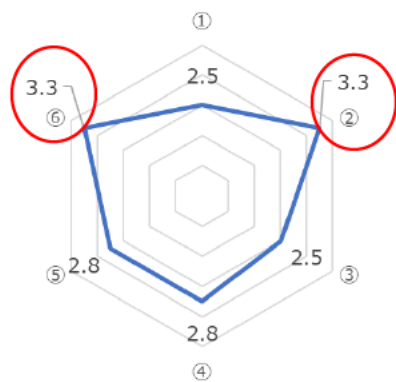
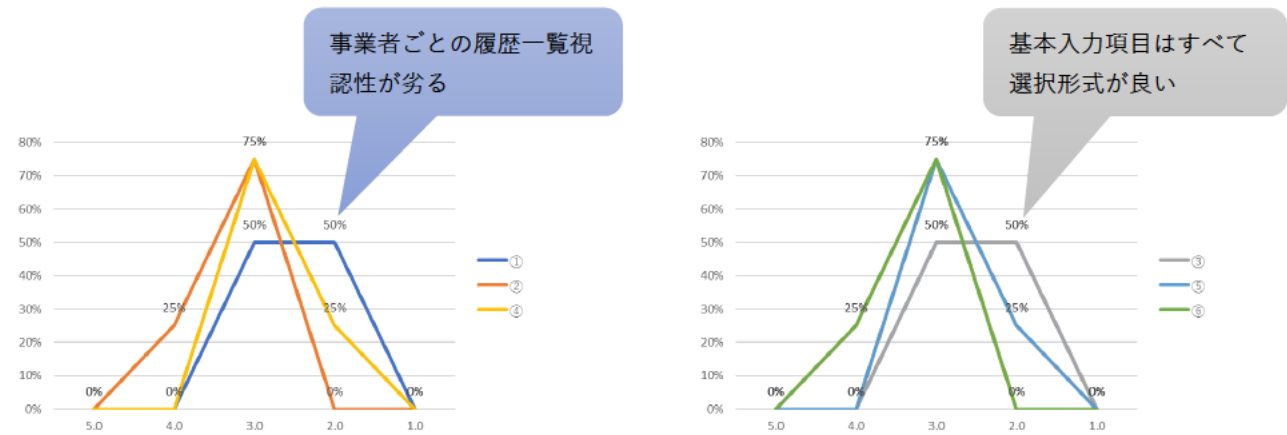


図 3-5-11-6【課題設定フェーズ 支援履歴】



※グラフ重なるため、①、②、④ と ②、⑤、⑥を分けて表示

評価視点	
①	業務を行ううえで便利そうか
②	登録・更新をスムーズ、正確、短時間で記録できそうか
③	操作しやすく、操作ミスを起こしにくそうか
④	業務に役立つ機能を有しているか
⑤	登録・変更を行ううえで処理スピードは十分か
⑥	業務活動の変化、業務量の増加に対応できそうか

5段階評価（5.0：最高 3.0：同等 1.0：最低）

< 課題解決フェーズ 支援案件 >

評価視点①以外の項目は平均値が 3.0（同等）以上（図 3-5-11-7【課題解決フェーズ 支援案件】参照）である。評価のばらつき（図 3-5-11-8【課題解決フェーズ 支援案件】参照）で見ても現状と同等の評価である。課題設定フェーズとは異なり現在利用中の既存システムとの利用比較評価ができていていると思われる。業務効率化の評価視点②と⑥現行の仕組みと同等以上との評価が出ていることより、新システムへの期待があると想定できる。

図 3-5-11-7【課題解決フェーズ 支援案件】

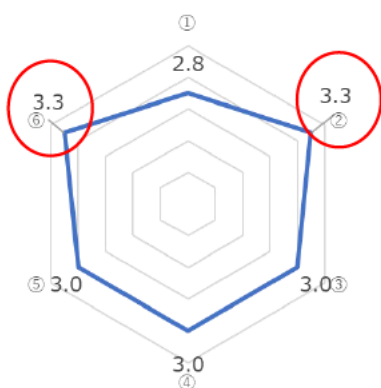
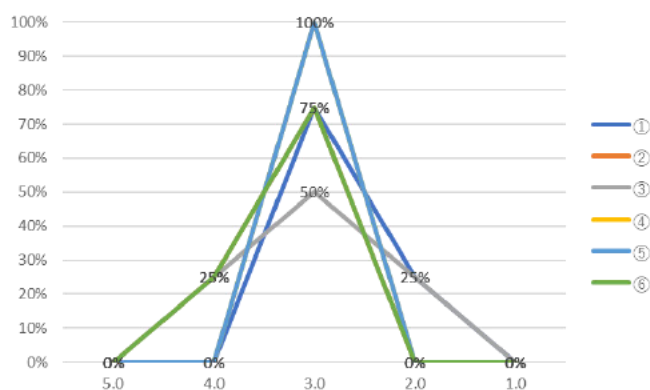


図 3-5-11-8【課題解決フェーズ 支援案件】



⑥と②が重なっているため②が表示されていない。

⑤と④が重なっているため④が表示されていない。

< 課題解決フェーズ 支援履歴 >

平均値が 3.0（同等）未満（図 3-5-11-9【課題解決フェーズ 支援履歴】参照）の評価視点が 3 つ有る。該当評価は、打鍵者により評価にばらつきがあり（図 3-5-11-10【課題解決フェーズ 支援履歴】参照）、評価コメントより操作をわかりやすく説明する等の工夫により改善できると推察。「②登録・更新をスムーズ、正確、短時間でできそうか」「⑥業務活動の変化、業務量の増加に対応できそうか」について現行の仕組みと同等以上との評価が出ており、新システムへの期待があると想定できる。

図 3-5-11-9【課題解決フェーズ 支援履歴】

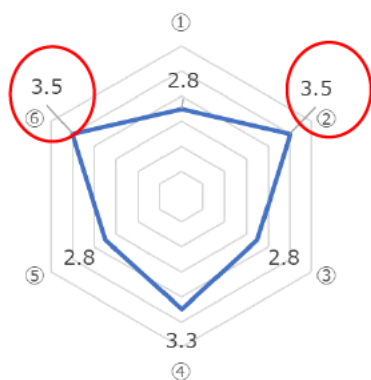
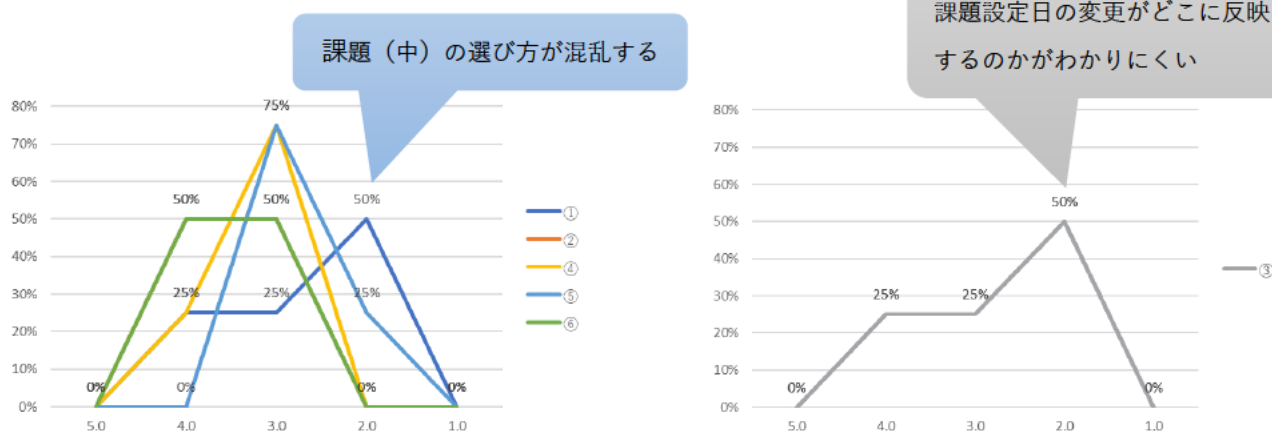


図 3-5-11-10 【課題解決フェーズ 支援履歴】



※グラフが重なるため、③を分けて表示

評価視点	
①	業務を行ううえで便利そうか
②	登録・更新をスムーズ、正確、短時間で記録できそうか
③	操作しやすく、操作ミスを起こしにくそうか
④	業務に役立つ機能を有しているか
⑤	登録・変更を行ううえで処理スピードは十分か
⑥	業務活動の変化、業務量の増加に対応できそうか

5段階評価（5.0：最高 3.0：同等 1.0：最低）

■ 経済産業局伴走支援

<事業所と相談者>

定形的な情報入力画面についてはよろず支援拠点の評価より高評価になっている。利用中のシステムの違いによるものと思われる。事業所に関連する基本情報（事業所と相談者）については、現在利用中の IT システムまたはその他仕組みとの比較で同等以上との評価と見ることができる。（図 3-5-11-11 【事業所】、図 3-5-11-12 【相談者】 参照）

図 3-5-11-11 【事業所】

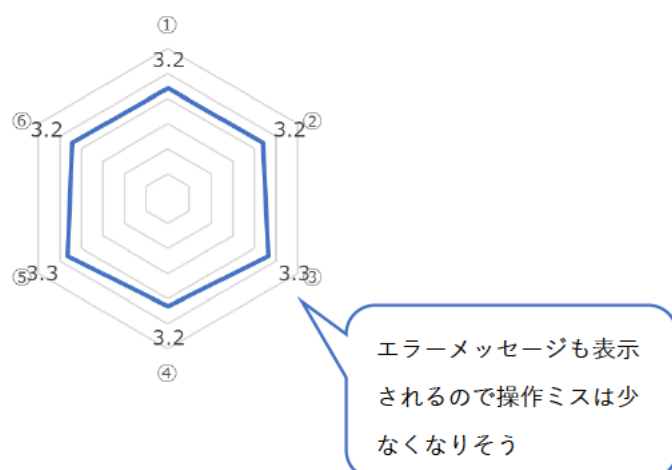
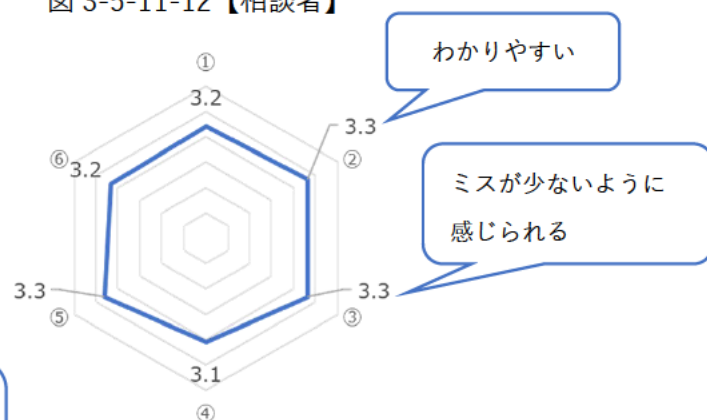


図 3-5-11-12 【相談者】



＜課題設定フェーズ 支援案件＞

6つの評価視点の平均値 3.0（同等）以上（図 3-5-11-13【課題設定フェーズ 支援案件】参照）で評価のばらつきを見ても（図 3-5-11-14【課題設定フェーズ 支援案件】参照） 3.0（同等）以上の評価が8割を超えていることより、現在利用中の IT システムまたはその他仕組みとの比較で同等以上との評価と見ることができる。

図 3-5-11-13【課題設定フェーズ 支援案件】

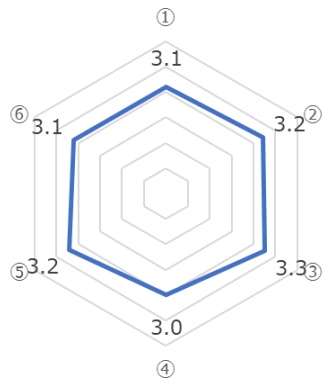
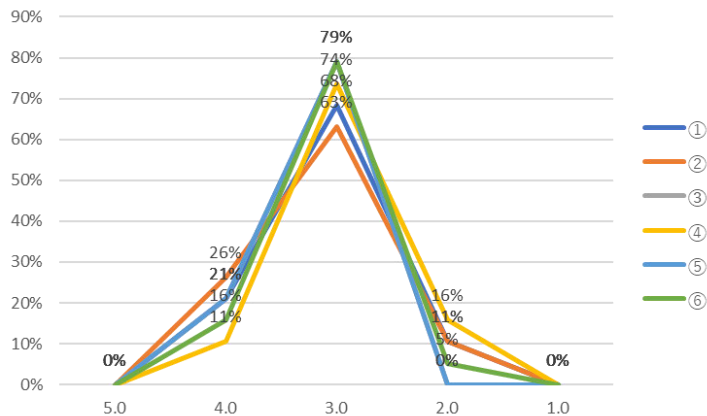


図 3-5-11-14【課題設定フェーズ 支援案件】



評価視点	
①	業務を行ううえで便利そうか
②	登録・更新をスムーズ、正確、短時間で記録できそうか
③	操作しやすく、操作ミスを起こしにくそうか
④	業務に役立つ機能を有しているか
⑤	登録・変更を行ううえで処理スピードは十分か
⑥	業務活動の変化、業務量の増加に対応できそうか

5段階評価（5.0：最高 3.0：同等 1.0：最低）

<課題設定フェーズ 支援履歴>

平均値が3.0（同等）未満（図3-5-11-15【課題設定フェーズ 支援履歴】参照）の評価視点が3つ有り、評価のばらつき（図3-5-11-16【課題設定フェーズ 支援履歴参照）と評価コメントより、現在の業務プロセスとプロトタイプ of システム提供サービス前提に差異があることが①、②、④の評価を下げてしていると推察される。現在の業務プロセスとプロトタイプで実現できることを想定した比較で、今作成しているドキュメントをどうするのか、想定がプロトタイプで出来ないことへの不安を持っているように思われる。どこまでの情報を管理する仕組みなのか、周知が必要と想定される。

図3-5-11-15【課題設定フェーズ 支援履歴】

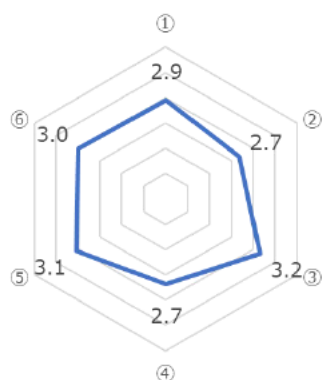
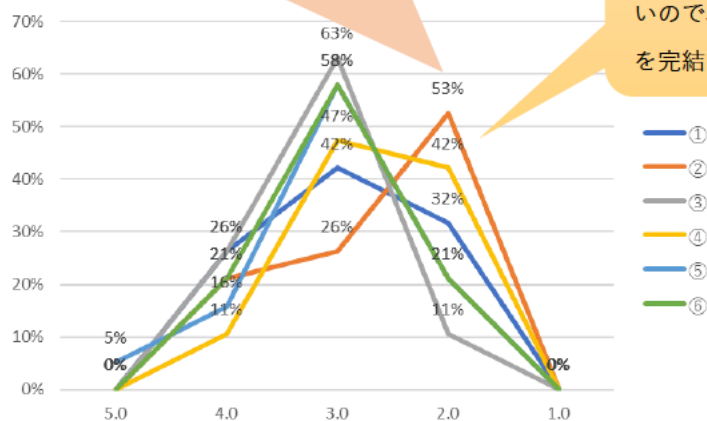


図3-5-11-16【課題設定フェーズ 支援履歴】

- ・すべて一からの記載であれば今より劣る
- ・支援内容（結果）については、図などを使いたがる人には使いづらいだろう。

使用したファイル類がアップできないので、本システムだけで支援記録を完結できない。



< 課題解決フェーズ 支援案件 >

評価視点④以外の項目は平均値 3.0（同等）以上（図 3-5-11-17【課題解決フェーズ 支援案件】参照）である。また、評価のばらつき（図 3-5-11-18【課題解決フェーズ 支援案件】参照）も同等以上寄りで現状と同等以上の評価である。現在利用中のITシステムまたはその他仕組みと変わらないとの評価と見ることができる。

図 3-5-11-17【課題解決フェーズ 支援案件】

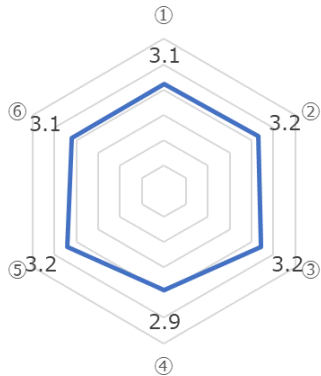
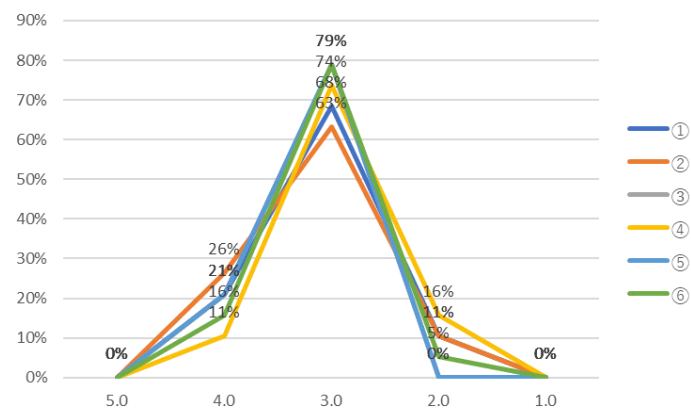


図 3-5-11-18【課題解決フェーズ 支援案件】



評価視点	
①	業務を行ううえで便利そうか
②	登録・更新をスムーズ、正確、短時間で記録できそうか
③	操作しやすく、操作ミスを起こしにくそうか
④	業務に役立つ機能を有しているか
⑤	登録・変更を行ううえで処理スピードは十分か
⑥	業務活動の変化、業務量の増加に対応できそうか

5 段階評価（5.0：最高 3.0：同等 1.0：最低）

<課題解決フェーズ 支援履歴>

平均値が3.0（同等）未満（図3-5-11-19【課題解決フェーズ 支援案件】参照）の評価視点が3つ有り、評価のばらつき（図3-5-11-20【課題解決フェーズ 支援案件】参照）と評価コメントから、現在の業務プロセス中にプロトタイプ機能をどのように組み込むことができるか想定し難かったことが①、②、④の評価が低かった理由ではないかと推察される。現在の業務プロセスにプロトタイプのシステム機能を組み込むことに対して不安を持つ人もいるように推察できる。このシステムの利用方法の活用方法の周知が必要と想定される。

図3-5-11-19【課題解決フェーズ 支援案件】

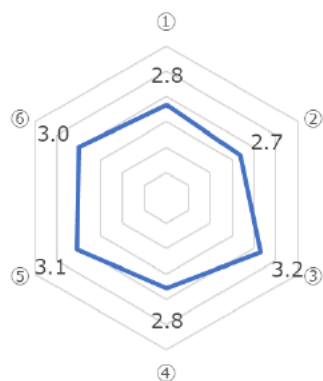
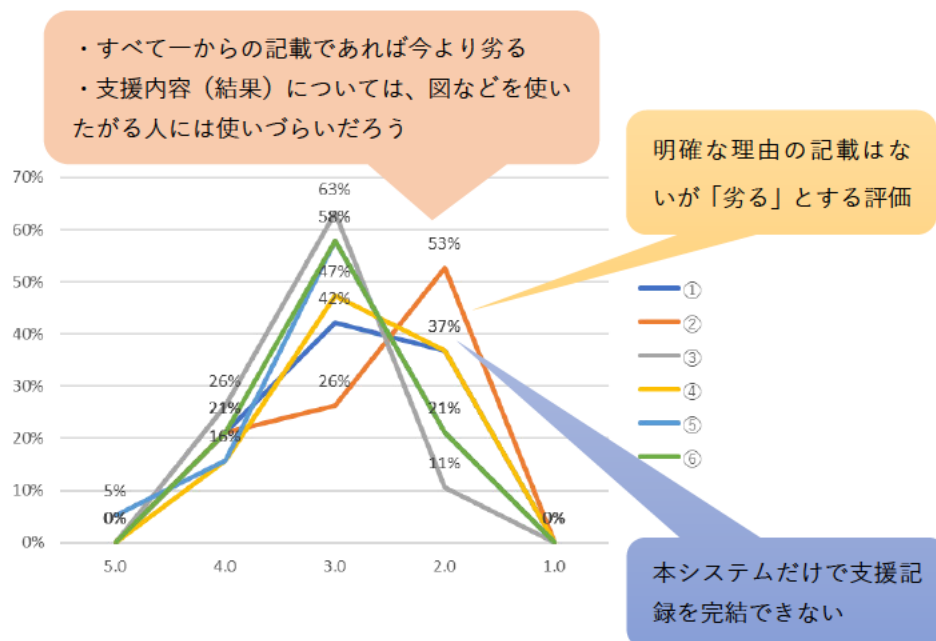


図3-5-11-20【課題解決フェーズ 支援案件】



< 成果指標 >

全て評価視点が平均値 3.0（同等）以上（図 3-5-11-21【成果指標】参照）で、評価ばらつき（図 3-5-11-22【成果指標】参照）を見ても 3.0（同等）以上がほぼ 8 割を超えていることより、現在利用中の IT システムまたはその他仕組みとの比較で同等以上との評価と見ることができる。

図 3-5-11-21【成果指標】

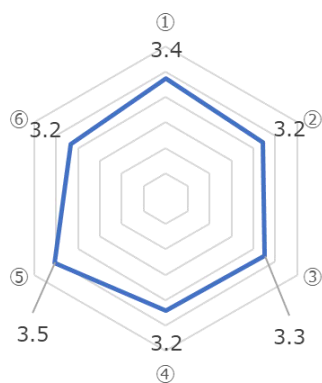
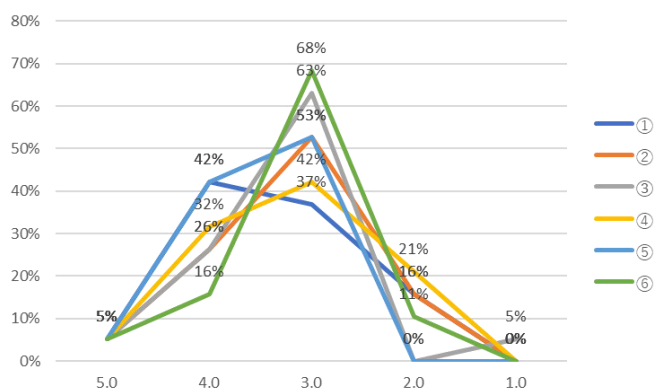


図 3-5-11-22【成果指標】



■ データ項目に漏れはないかを評価

よろず支援拠点からの意見で、現よろず支援拠点カルテシステムにある項目に関する過不足の指摘があった。指摘項目においては、実績集計方法や運用によって必要可否が分かれる項目が多かったため、中小企業庁と令和5年度に向けて確認・検討していく。また、よろず支援拠点、経済産業局伴走支援の両者より、データ蓄積・利活用の観点から、入力規制を強くすべきとの意見があったため、システムで改善できる箇所は対応していく。

打鍵結果から見る課題と改善案

本プロトタイプシステム打鍵者より自由記載の要望や意見、具体的な改善案を多く頂戴したが、本プロトタイプシステムで用意した機能自体に対して「使えない」という評価は無かった。このことにより機能面は入力負荷を減らす、項目名や入力コメントをわかりやすくするなどの改善工夫をすることで利用者の利便性が高いシステムになると想定される。一方で「必要な機能か？」と言った打鍵者が想定し難い業務機能については、機能評価よりも、機能存在に対して疑問視する意見が寄せられた。そこで、業務プロセスに合わせた本システムの活用場面を想定した業務マニュアルを作成する等、利用者が理解できる資料の準備、および事前周知を行うことで利用を促進できると推察する。

3-5-12 ミラサポコネクト連携方法検討

本システムとミラサポコネクトとのAPI連携について検討を行った。連携フロー想定を、「図 3-5-12-1 ミラサポコネクト連携フロー想定」に、連携処理概要想定を「図 3-5-12-2 ミラサポコネクト連携処理概要想定」に示す。詳細の連携方法検討、および検証は次年度以降の対応となる。

図 3-5-12-1 ミラサポコネクト連携フロー想定

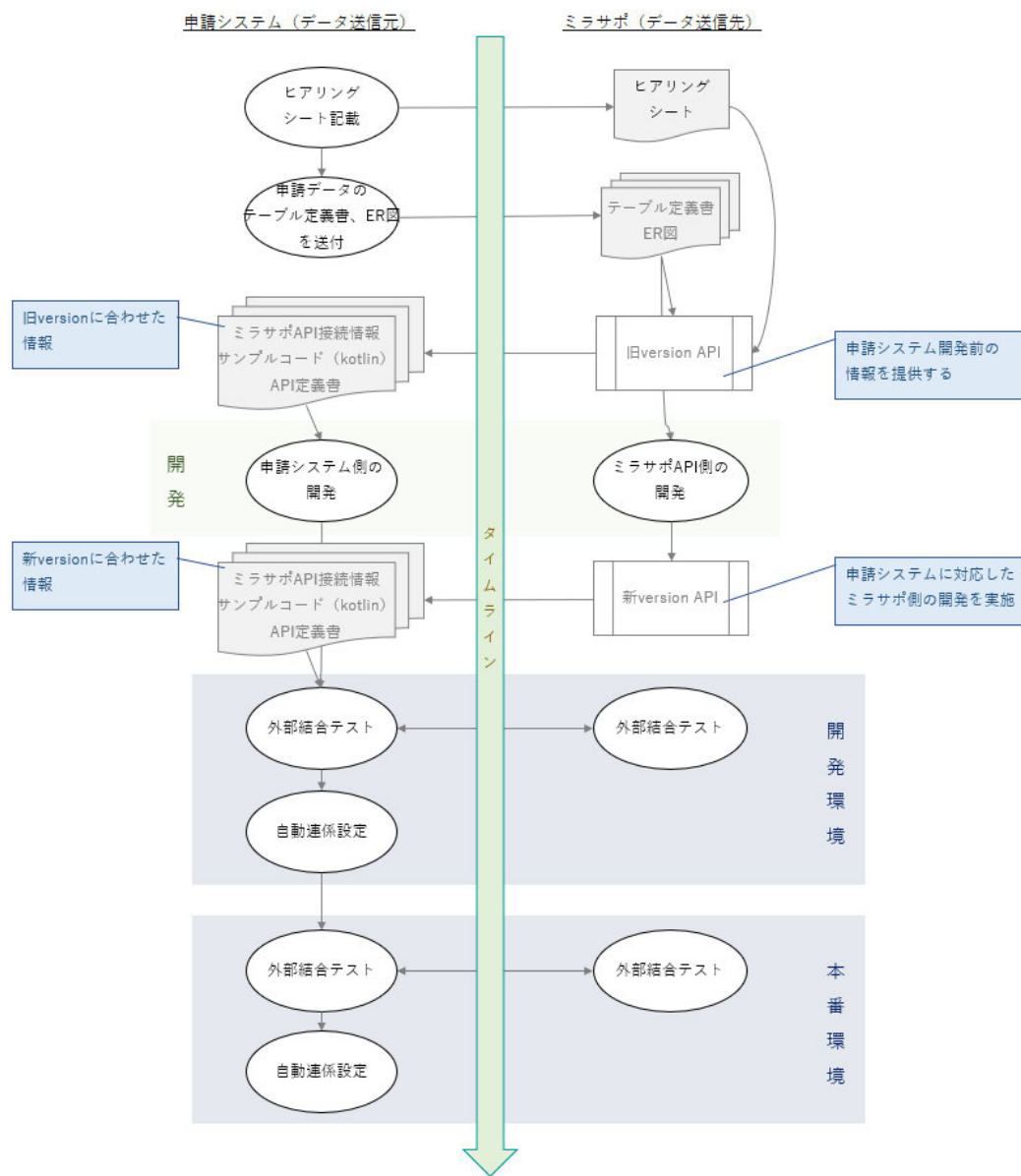
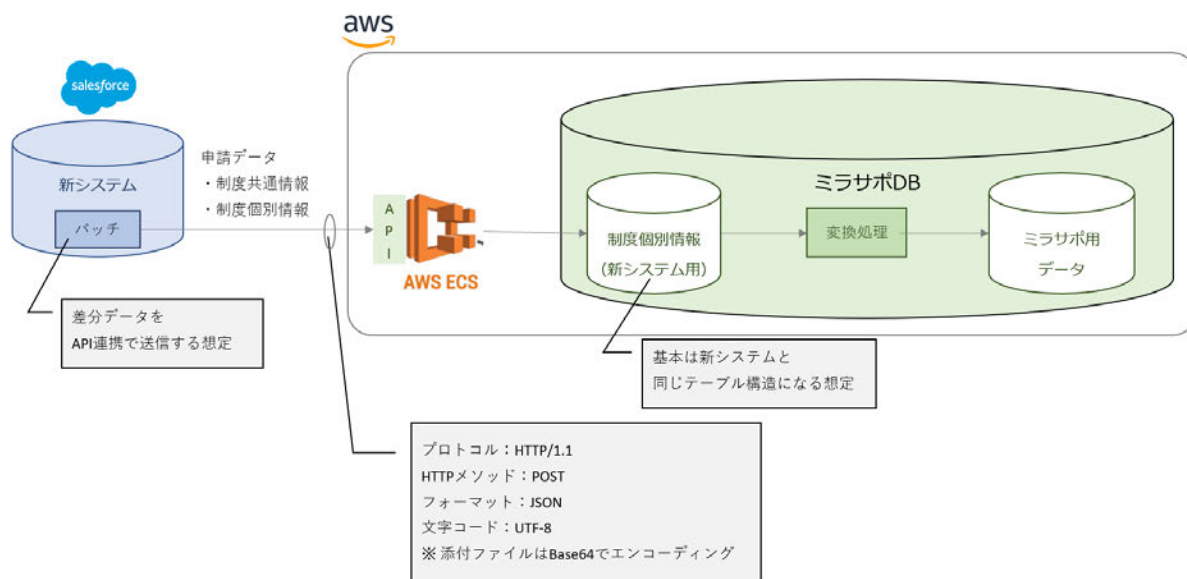


図 3-5-12-2 ミラサポコネクト連携処理概要想定



3-5-13 システム整備が与える影響の検討

本システムを整備し、本稼働した場合に与える影響について検討した。

<情報面>

- ・既存システムの情報を新システムで参照可能にする必要がある。
- 解決案：事項「3-5-14」に引継ぎ方法検討結果を記載。

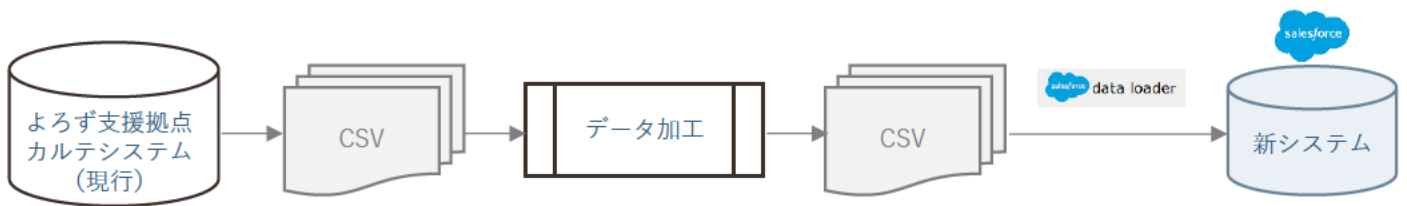
<業務・運用面>

- ・新システムの研修時間の確保、また慣れるまで入力工数がプラスで発生するため多少の負担が発生する。
- 解決案：新システムを事前に周知、打鍵で触れてもらう等、新システムへ移行する工数を分散させる。
- ・新システムに代わることで、利用者の混乱を招く可能性がある。
- 解決策：新システムへ切り替える目的と、運用ルールを明確化し、メリット・デメリットを想定したうえで、利用者ごとに説明する。その際、As Is の業務フローと To Be の業務フローの違いと、システムの利用・活用方法を伝える。

3-5-14 既存情報の引継ぎ検討

本システムが稼働した際の既存情報の引継ぎについて、現よろず支援拠点カルテシステムの情報を対象に検討した。引継ぎフロー想定を、「図 3-5-14-1 現よろず支援拠点システム引継ぎフロー想定」に手順と併せて示す。尚、詳細の実施方法、検証については次年度の対応とする。

図 3-5-14-1 現よろず支援拠点カルテシステム引継ぎフロー想定



<引継ぎ手順>

- 1) 現よろず支援拠点カルテシステムから CSV ファイルでデータを抽出。
- 2) 抽出した CSV ファイルを、新システムに合わせてデータ加工（項目のマッピング、データ・及びデータ形式の変換等）する。
- 3) 加工した CSV ファイルを「data loader」を使って新システムへ取り込む。

【data loader】

株式会社セールスフォース・ジャパンが提供しているアプリケーション。Salesforceを通じたインポート・エクスポートを行うツールである。

3-6 (2) 企業データ（現状・課題）・支援情報（助言・支援内容）システムの在り方調査

3-6-1 事業実施方法

「3-3」～「3-5」に記載した調査結果をもとに、相談記録・経営支援情報を一元化しシステムを整備する場合において、当該システムを最大限活用し、政策立案・各業務及び事業の効率化・経営支援の高度化に繋げるための、当該システムの在り方を調査した。

3-6-2 調査結果

相談記録・経営支援情報を一元化しシステムを整備する場合において、仕様書に記載されている事業（1）、（3）、（4）を通して当該システム利活用における政策立案・各業務及び事業の効率化・経営支援の高度化検証の仮説、および今年度の本事業における実施内容、令和5年度の検討事項を以下に記載する。

①経済産業局の伴走支援における成果指標の登録

<本事業における実施内容>

局ごとに管理を行っている、経済産業局伴走支援の各情報についてシステム化を図った。伴走支援の成果指標についてもシステム化を検討し、プロトタイプシステム構築までを行った。それにより、一元的なデータベース管理が可能となるだけでなく、事業者情報と成果指標（結果）を紐づけることで、伴走支援成果の見える化、今後の政策立案やデータ処理における業務効率化の一助になると考えられる。

<令和5年度の検討事項>

今年度においては、成果指標の計算項目（因数）の入力のみだったが、令和5年度はシステム内で成果指標項目を算出することを検討する。また打鍵調査結果より、年度ごとの情報蓄積による成果指標の経年変化管理についても検討する。

②システム項目のデータ標準化及び簡素化

<本事業における実施内容>

よろず支援拠点の既存システムや、経済産業局の管理フォーマット（Excel等）との比較検討により、必須項目の精査・選定を実施しプロトタイプシステムへ反映した。また住所検索機能を設定し、郵便番号に基づく正確な住所入力を可能とした。本調査によりデータの一元化および標準化が図れ、必要項目精査による簡素化ができ入力者の負荷軽減が図れた。

<令和5年度の検討事項>

打鍵調査結果から、事業者情報等の入力項目において、項目名の解説の充実、入力方法の規制（例：電話番号は半角数値のみ入力可能とする等）など、迷いなく正しい情報を選択・入力できるようにし、入力者の負荷を更に軽減できるよう検討を進める。一方、入力項目の選定により、項目の不足を指摘された打鍵結果もあったため、引き続き調査を実施する必要がある。

③カルテシステム画面の入力検討

<本事業における実施内容>

カルテシステム項目の基本情報（いつ、誰が、誰に、どのように等）については、よろず支援拠点と経済産業局にて項目の統一が図れた。また経営力再構築伴走支援モデルに基づき、課題設定・課題解決の機能画面を設けた画面構成とした。これにより提供先（伴走支援、よろず支援拠点）でも同じ仕様の画面構成で利用可能となった。

<令和5年度の検討事項>

カルテシステム入力のUI・UXに関して、打鍵調査結果や事業を通しての意見等を再度ブラッシュアップし、項目の選択式、コピー、閲覧性等、経営支援の現場での利用負担を軽減できるUI・UXを目指すとともに、今後の施策に適応した仕様の検討が必要と考える。

④満足度調査のシステム化検討

<本事業における実施内容>

現状は紙媒体の郵送にて運用しているが、本事業においてシステムと連携して利用できるwebアンケート調査機能を検討した。その結果、当該システムから事業者へwebアンケートを送れる機能が存在するため、満足度調査としても用いることができることが分かった。実現すると紙媒体の調査に比べよりリアルタイムで事業者の満足度等を把握でき、次の支援に活かすことが想定できる。

<令和5年度の検討事項>

今後、検証を行い業務効率の向上を図れる機能を持たせる必要がある。また打鍵時に調査対象先のリスト化についても手間を感じているという声もあったため、検証時には再度、ヒアリング等の実施が必要と考える。

⑤システム運用に関する整備

<本事業における実施内容>

本事業において提供先である中小企業庁、経済産業局（伴走支援含む）、よろず支援拠点におけるネットワーク構築、当該システムのライセンスの最適化等を検討し、閲覧設定を「3-5-9」に記載の「図3-5-9-1 プロトタイプシステム閲覧設定」のとおり、構築を行った。

<令和5年度の検討事項>

打鍵結果より、個人情報も取り扱う可能性もある観点から情報共有に関して慎重な意見も散見された。次年度以降も調査検討と運用ルールの整備を行う必要があると考えられる。

4. 総括

本報告書の総括として今後より政策立案・各業務及び事業の効率化・経営支援の高度化を図るためのシステムの在り方として、中小企業庁が進めているミラサポコネクトを始めとするシステム面の充実と、新たな経営支援モデルにある経営力再構築伴走支援モデルの普及・浸透が両輪で図られることが実現のための要件のひとつと考えられる。

当該システムにおいてもその一部を担う上で次年度以降のシステムの在り方について、考察を行い本報告書の総括とする。

①施策整備とシステムの運用ルール等の基盤構築について

打鍵結果からシステム面での操作性向上や機能拡充を求める意見が多い中でも、支援機関の評価制度等の施策に対する整備を求める意見もあった。またテキストマイニング結果から支援機関ごとの独自運用ルール等も多く見られた。今後、当該システムから政策立案・各業務及び事業の効率化・経営支援の高度化を図るためには施策面での整備を進め、当該システムの目的を明確化し、運用ルールを周知することが必要だと考えられる。

②当該システムを用いた経営力再構築伴走支援モデルの普及・浸透による経営支援の高度化

経営支援の高度化に繋げるための仮説検証として経営力再構築伴走支援モデルの普及・浸透を考える。本支援モデルは、プロセスコンサルティングの過程において、事業者に対し傾聴と対話を通し、腹落ち（内発的動機付け）、自己変革力、自走化等に繋げていくことと認識している。そこで、事業者が本質的な課題に気付き腹落ちをした事柄や、自己変革力に至るまでの経営支援方法を当該システムに5W1H等を意識しながら入力することで、支援の入口を重視した課題設定支援事例の蓄積・共有化がされ支援者側の高度化に繋がると考えられる。

③当該システム情報を活用したBIツール分析による施策立案と支援の効率化

上記①、②の整備をおこない、事業者ごとの企業規模、業種、地域、創業年数、財務数値や支援機関情報をBIツール（Tableau・PowerBI）に取り込むことで統計分析や事業者ごとの正確な分析が可能になる。またテキストマイニング等で経営支援内容の言葉の定量化を行うことで、多様なユースケースの設定と分析が可能となる。具体例として、時系列で事業者の意識改革の傾向、施策投下後の行動変容等、分析内容と支援過程から根拠ある伴走支援モデルを導きだすことができると考えられる。

政策立案においても、経営者の自己変革力が見られる企業向けにはスポットでの補助金支援、自走化に至った企業には必要に応じたバックアップ支援をする戦略的な政策立案ができ、デジタルを活用するからこそ個々の事業者フェーズに充てた新たな政策立案や支援の業務効率化が可能となる。

5. 補足

5-1 本事業実施における外部委託先

本事業は以下2者に一部を委託し、実施した。

- ・株式会社フレクト
主な業務内容：プロトタイプシステムの仕様検討（弊社補佐）、システム設計、実装、動作テスト、
プロトタイプシステムにおけるドキュメントの作成
- ・株式会社マイボイスコム
主な業務内容：よろず支援拠点の過去支援データのテキストマイニング、結果報告書の作成

5-2 本事業の検討、進捗報告方法

以下の取り決めのもと、中小企業庁と本事業に関する打ち合わせ、および弊社からの進捗報告を行った。

- ・定例ミーティングの実施
毎週木曜 15 時～16 時にて設定。進捗状況により、開催の有無は決定。
※テキストマイニングに関する内容のみ、毎週木曜 16 時～16 時半にて別設定。

事業所基本情報

よろず支援拠点	経済産業局 伴走支援	経済産業局 企業訪問	項目名	データ型	桁数	必須	選択リスト値	ヘルプ内容
○	○	○	事業所名(正式名称 例:株式会社○○)	テキスト	80	必須		
○	○	○	事業所名(全角カナ)	テキスト	255			
○	○	○	代表者 姓	テキスト	50	必須		
○	○	○	代表者 名	テキスト	50	必須		
○	○	○	代表者 姓(全角カナ)	テキスト	80			
○	○	○	代表者 名(全角カナ)	テキスト	80			
○	○	○	会社形態	選択リスト		必須	企業(法人);企業(個人);創業前;支援 機関(法人);支援機関(個人);その他	
○	○	○	法人番号(半角数値13桁)	数値(13)	13			
○	○	○	事業所住所(国/テリトリー)	選択リスト			日本	
○	○	○	事業所住所(郵便番号)	テキスト	20			
○	○	○	事業所住所(都道府県)	選択リスト			愛知県;愛媛県;茨城県;岡山県;沖縄 県;岩手県;岐阜県;宮崎県;宮城県; 京都府;熊本県;群馬県;広島県;香川 県;高知県;佐賀県;埼玉県;三重県; 山形県;山口県;山梨県;滋賀県;鹿児 島県;秋田県;新潟県;神奈川県;青森 県;静岡県;石川県;千葉県;大阪府; 大分県;長崎県;長野県;鳥取県;島根 県;東京都;徳島県;栃木県;奈良県; 富山県;福井県;福岡県;福島県;兵庫 県;北海道;和歌山県	
○	○	○	事業所住所(市区郡)	テキスト	40			
○	○	○	事業所住所(町名・番地)	ロングテキストエリア	255			
○	○	○	TEL(半角数値のみ)	数値(10,11)	11			
○	○	○	ホームページ(URL)	URL	255			
○	○	○	代表メールアドレス	メール				
○	○	○	創業年月(例:1960/03)	yyyy/mm	7			
○	○	○	資本金(単位:円/半角数値のみ)	数値(18, 0)	18			0円は指定できません
○	○	○	法人設立年月(例:1960/03)	yyyy/mm	7			
○	○	○	事業所数(半角数値のみ)	数値(18, 0)	18			0事業所は指定できません
○	○	○	従業員数(単位:名/半角数値のみ)	数値(18, 0)	18			0名は指定できません
○	○	○	沿革、事業概要、強み	ロングテキストエリア	1000			<沿革> 0000年 ○○○として設立。○○の販 売を開始。 0000年 ○○○を導入し、○○事業を 開始。 <事業概要> <強み>
○	○	○	業種大分類	選択リスト			A. 農業、林業;B. 漁業;C. 鉱業、採石 業、砂利採取業;D. 建設業;E. 製造業;F. 電気・ガス・熱供給・水道業;G. 情報通 信業;H. 運輸業、郵便業;I. 卸売業、小 売業;J. 金融業、保険業;K. 不動産業、 物品賃貸業;L. 学術研究、専門・技術 サービス業;M. 宿泊業、飲食サービス 業;N. 生活関連サービス業、娯楽業;O. 教育、学習支援業;P. 医療、福祉;Q. 複 合サービス事業;R. サービス業(他に分 類されないもの);S. 公務(他に分類され るものを除く);T. 分類不能の産業	
○	○	○	業種中分類	選択リスト			01 農業;02 林業;03 漁業(水産養殖業を除く);04 水産養殖 業;05 鉱業、採石業、砂利採取業;06 総合工事業;07 職別工 事業(設備工事業を除く);08 設備工事業;09 食料品製造 業;10 飲料・たばこ・飼料製造業;11 繊維工業;12 木材・木製 品製造業(家具を除く);13 家具・装備品製造業;14 ハルプ・ 組・紙加工品製造業;15 印刷・同梱造業;16 化学工業;17 石 油製品・石炭製品製造業;18 プラスチック製品製造業(別掲 を除く);19 ゴム製品製造業;20 なめし革・同製品・毛皮製造 業;21 窯業・土石製品製造業;22 鉄鋼業;23 非鉄金属製造 業;24 金属製品製造業;25 はん用機械器具製造業;26 生産 用機械器具製造業;27 業務用機械器具製造業;28 電子部 品・デバイス・電子回路製造業;29 電気機械器具製造業;30 情報通信機械器具製造業;31 輸送用機械器具製造業;32 そ の他の製造業;33 電気業;34 ガス業;35 熱供給業;36 水道 業;37 通信業;38 放送業;39 情報サービス業;40 インターネッ ト附随サービス業;41 映像・音声・文字情報制作業;42 鉄道 業;43 道路旅客運送業;44 道路貨物運送業;45 水運業;46 航空運送業;47 倉庫業;48 運輸に附帯するサービス業;49 郵便業(信書便事業を含む);50 各種商品卸売業;51 繊維・ 衣服等卸売業;52 飲食料品卸売業;53 建築材料、鉱物・金 属材料等卸売業;54 機械器具卸売業;55 その他の卸売 業;56 各種商品小売業;57 繊維・衣服・身の回り品小売 業;58 飲食料品小売業;59 機械器具小売業;60 その他の小 売業;61 無店舗小売業;62 銀行業;63 協同組織金融業;64 貸金業、クレジットカード業等非預金信用機関;65 金融商品 取引業、商品先物取引業;66 補助的金融業等;67 保険業 (保険媒介代理業、保険サービス業を含む);68 不動産取引 業;69 不動産賃貸業・管理業;70 物品賃貸業;71 学術・開発 研究機関;72 専門サービス業(他に分類されないもの);73 広告業;74 技術サービス業(他に分類されないもの);75 宿 泊業;76 飲食店;77 持ち帰り・配達飲食サービス業;78 洗濯・ 理容・美容・浴場業;79 その他の生活関連サービス業;80 娯 楽業;81 学校教育;82 その他の教育、学習支援業;83 医療 業;84 保健衛生;85 社会保険・社会福祉・介護事業;86 郵便 局;87 協同組合(他に分類されないもの);88 廃棄物処理 業;89 自動車整備業;90 機械等修理業(別掲を除く);91 職 業紹介・労働者派遣業;92 その他の事業サービス業;93 政 治・経済・文化団体;94 宗教;95 その他のサービス業;96 外 国公務;97 国家公務;98 地方公務;99 分類不能の産業	
○	○	○	業種(その他)	テキスト	255			
○			よろず伴走支援対象事業所	チェックボックス				
	○		伴走支援対象事業所	チェックボックス				
○	○	○	未来法関連_地域未来	チェックボックス				
○	○	○	紹介元支援機関等	選択リスト			商工会;商工会議所;事業承継・引継ぎ 支援センター;中小企業活性化協議会; 信用保証協会;知財総合支援窓口;日本 貿易振興機構(JETRO);下請かけこみ 寺;中小企業基盤整備機構;都道府県中 小企業支援センター;都道府県・市町村 (特別区含む);中小企業団体中央会;中 小企業診断協会;金融機関(都市銀行); 金融機関(地方銀行);金融機関(信用 金庫);金融機関(信用協同組合);政府 系金融機関(商工組合中央金庫);政府 系金融機関(日本政策金融公庫);系統 金融機関(JA・JF);その他の金融機関; 税理士・同会・同法人;公認会計士・同 協会;監査法人;弁護士・同会・同法人; 中小企業診断士;社会保険労務士・同 会・同法人;行政書士・同会・同法人;民 間コンサルティング会社;NPO法人;上記 以外的一般社団法人;上記以外的一般 財団法人;上記以外の公益社団法人;上 記以外の公益財団法人;上記以外の民 間会社;上記以外の官公庁;その他の支 援機関	
○	○	○	紹介元支援機関等名	テキスト	255			
○	○	○	紹介元支援機関等法人番号(半角数値13桁)	数値(13)	13			
○	○	○	備考	ロングテキストエリア	1000			
○	○	○	初回相談日	支援履歴の初回登録 日を自動反映				
○	○	○	最終更新日	自動反映				

別紙① 検討項目一覧

相談者

よろず支援拠点	経済産業局 伴走支援	経済産業局 企業訪問	項目名	データ型	桁数	必須	選択リスト値	ヘルプ内容
○	○	○	事業所名	自動反映		必須		
○	○	○	姓	テキスト	80	必須		
○	○	○	名	テキスト	80			
○	○	○	姓(全角カナ)	テキスト	80			
○	○	○	名(全角カナ)	テキスト	80			
○	○	○	性別	選択リスト			男性;女性;不明	
○	○	○	年齢	選択リスト			29歳以下;30歳代;40歳代;50歳代;60歳代;不明	
○	○	○	連絡先電話番号(半角数値のみ)	数値(10,11)	11			
○	○	○	メールアドレス	メール				
○	○	○	部署	テキスト	50			
○	○	○	役職	テキスト	50			
○	○	○	備考(人柄・その他留意事項)	ロングテキストエリア	1000			

支援者（よろず支援拠点のみ）

よろず支援拠点	項目名	データ型	必須	選択リスト値	ヘルプ内容
○	更新日	自動反映			
○	拠点名	選択肢	○	北海道;青森県;岩手県;宮城県;秋田県;山形県;福島県;茨城県;栃木県;群馬県;埼玉県;千葉県;東京都;神奈川県;新潟県;山梨県;長野県;静岡県;愛知県;岐阜県;三重県;富山県;石川県;福井県;滋賀県;京都府;大阪府;兵庫県;奈良県;和歌山県;鳥取県;島根県;岡山県;広島県;山口県;徳島県;香川県;愛媛県;高知県;福岡県;佐賀県;長崎県;熊本県;大分県;宮崎県;鹿児島県;沖縄県	
○	役職	選択肢	○	チーフコーディネーター; コーディネーター	
○	氏名	テキスト	○		
○	氏名(全角カナ)	テキスト	○		
○	採用日(西暦)	日付	○		
○	勤務形態(日数/週)	選択肢		1;2;3;4;5;6;7	
○	自己紹介	テキスト			
○	支援実績	テキスト			
○	得意分野①～③	選択肢		IT活用;広報戦略;広告デザイン;販路開拓;販売先設定;市場調査;海外展開;商品デザイン;商品開発;地域資源活用;資金繰り;債権保全・債権回収;現場改善・生産性向上;事業連携;経営知識;事業計画策定;施策活用;法律;知的財産;雇用・労務;経営革新支援;経営改善支援;創業支援;事業再生支援;事業承継;売上拡大;農商工連携;ものづくり;税務;人材育成	
○	得意業種①～③	選択肢		A. 農業, 林業;B. 漁業;C. 鉱業, 採石業, 砂利採取業;D. 建設業;E. 製造業;F. 電気・ガス・熱供給・水道業;G. 情報通信業;H. 運輸業, 郵便業;I. 卸売業, 小売業;J. 金融業, 保険業;K. 不動産業, 物品賃貸業;L. 学術研究, 専門・技術サービス業;M. 宿泊業, 飲食サービス業;N. 生活関連サービス業, 娯楽業;O. 教育, 学習支援業;P. 医療, 福祉;Q. 複合サービス事業;R. サービス業(他に分類されないもの);S. 公務(他に分類されるものを除く);T. 分類不能の産業	
○	保有資格(国家資格)①～③	選択肢		中小企業診断士;特定社会保険労務士・社会保険労務士;税理士;ファイナンシャルプランニング技能士;弁護士;公認会計士;行政書士;司法書士;弁理士;技術士;建築士;販売士;ウェブデザイン技能士;社会福祉士;管理栄養士・栄養士;宅地建物取引主任者;知的財産管理技能士;キャリアコンサルタント;調理師;不動産鑑定士;システムアナリスト;プロジェクトマネージャ;通関士	
○	保有資格(民間資格)①～③	選択肢		ITコーディネータ;情報処理技術者;ISO審査員・内部監査員;カラーコーディネーター;貿易アドバイザー・貿易実務検定;フードコーディネーター;六次産業化プランナー;経営士;販路コーディネーター;JBIA認定インキュベーション・マネジャー;事業承継支援マスター;事業承継支援マスター;経営学修士(MBA);その他	
○	支援拠点外の所属(役職)	テキスト			
○	認定支援機関の有無	選択肢		あり;なし	

別紙①_検計項目一覧

支援案件(課題解決フェーズ)

よろず支援拠点	経済産業局 伴走支援	項目名	データ型	桁数	必須	選択リスト値	ヘルプ内容
○	○	事業所名	自動反映		必須		
○	○	設定日(支援開始日)	日付		必須		
	○	支援状況／結果	選択リスト		必須	対応中;完了(課題解決フェーズに移行);完了(課題設定フェーズまでで支援終了);継続不可	
○	○	備考	ロングテキストエリア	131072			

支援案件(課題解決フェーズ)

よろず支援拠点	経済産業局 伴走支援	項目名	データ型	桁数	必須	選択リスト値	ヘルプ内容
○	○	事業所名	自動反映		必須		
○	○	設定日(支援開始日)	日付		必須		
○		課題(大)	選択リスト		必須	売上拡大;経営改善・事業再生;創業;再チャレンジ;事業承継;廃業;よろず伴走支援	
	○	課題(大)	選択リスト		必須	経産局伴走支援	
○	○	支援状況／結果	選択リスト		必須	対応中;完了;継続不可	
○		課題確認日(支援状況／結果が完了、継続不可の場合は選択)	日付				
○		確認(成果)内容	ロングテキストエリア	131072			
○	○	備考	ロングテキストエリア	131072			

支援案件(企業訪問記録のみ)

経済産業局 企業訪問	項目名	データ型	桁数	桁数	必須	選択リスト値	ヘルプ内容
○	事業所名	自動反映					
○	設定日(支援開始日)	日付			必須		
○	備考	ロングテキストエリア	131072				

別紙① 検討項目一覧

支援履歴(課題設定フェーズ)

よろず支援拠点	経済産業局 伴走支援	項目名	データ型	桁数	必須	選択リスト値	ヘルプ内容
○	○	事業所名	自動反映				
○	○	支援案件名	自動反映				
○	○	支援日	日付		必須		
○	○	支援時刻 From	選択リスト		必須	8:00;8:15;8:30;8:45;9:00;9:15;9:30;9:45;10:00;10:15;10:30;10:45;11:00;11:15;11:30;11:45;12:00;12:15;12:30;12:45;13:00;13:15;13:30;13:45;14:00;14:15;14:30;14:45;15:00;15:15;15:30;15:45;16:00;16:15;16:30;16:45;17:00;17:15;17:30;17:45;18:00;18:15;18:30;18:45;19:00;19:15;19:30;19:45;20:00;20:15;20:30;20:45;21:00;21:15;21:30;21:45;22:00	
○	○	支援時刻 To	選択リスト		必須	8:00;8:15;8:30;8:45;9:00;9:15;9:30;9:45;10:00;10:15;10:30;10:45;11:00;11:15;11:30;11:45;12:00;12:15;12:30;12:45;13:00;13:15;13:30;13:45;14:00;14:15;14:30;14:45;15:00;15:15;15:30;15:45;16:00;16:15;16:30;16:45;17:00;17:15;17:30;17:45;18:00;18:15;18:30;18:45;19:00;19:15;19:30;19:45;20:00;20:15;20:30;20:45;21:00;21:15;21:30;21:45;22:00	
○	○	支援形態	選択リスト		必須	来訪(対面);訪問(対面);オンライン;電話;メール	
○		支援場所	選択リスト		必須	実施機関;サテライト;出張相談;その他	
	○	支援場所	選択リスト		必須	先方事業所;オンライン;経済産業局;その他	
○	○	事業所主担当者 氏名	テキスト	255			
○	○	事業所副担当者1 氏名	テキスト	255			
○	○	事業所副担当者2 氏名	テキスト	255			
○		主対応者カテゴリ	選択リスト			よろず支援拠点チーフコーディネーター;よろず支援拠点コーディネーター	
	○	主対応者カテゴリ	選択リスト			経産局 地域担当;経産局 伴走コンサルタント;連携地域担当;経済産業局職員	
○	○	主対応者 氏名	自動反映	255			
○		副対応者1カテゴリ	選択リスト			よろず支援拠点チーフコーディネーター;よろず支援拠点コーディネーター	
	○	副対応者1カテゴリ	選択リスト			経産局 地域担当;経産局 伴走コンサルタント;連携地域担当;経済産業局職員	
○	○	副対応者1 氏名	テキスト	255			
○		副対応者2カテゴリ	選択リスト			よろず支援拠点チーフコーディネーター;よろず支援拠点コーディネーター	
	○	副対応者2カテゴリ	選択リスト			経産局 地域担当;経産局 伴走コンサルタント;連携地域担当;経済産業局職員	
○	○	副対応者2 氏名	テキスト	255			
○	○	副対応者(その他) 氏名	テキスト				
○	○	連携(同席)支援機関等カテゴリ	選択リスト			商工会;商工会議所;事業承継・引継ぎ支援センター;中小企業活性化協議会;信用保証協会;知財総合支援窓口;日本貿易振興機構(JETRO);下請かけこみ寺;中小企業基盤整備機構;都道府県中小企業支援センター;都道府県・市町村(特別区含む);中小企業団体中央会;中小企業診断協会;金融機関(都市銀行);金融機関(地方銀行);金融機関(信用金庫);金融機関(信用協同組合);政府系金融機関(商工組合中央金庫);政府系金融機関(日本政策金融公庫);系統金融機関(JA・JF);その他の金融機関;税理士・同会・同法人;公認会計士・同協会;監査法人;弁護士・同会・同法人;中小企業診断士;社会保険労務士・同会・同法人;行政書士・同会・同法人;民間コンサルティング会社;NPO法人;上記以外の一般社団法人;上記以外の一般財団法人;上記以外の公益社団法人;上記以外の公益財団法人;上記以外の民間会社;上記以外の官公庁;その他の支援機関	
○	○	連携(同席)支援機関等担当者 氏名	テキスト	255			
○	○	連携(同席)支援機関等名	テキスト	255			
○	○	備考	ロングテキストエリア	131072			
○	○	テーマ	テキスト	255			
○	○	プレ訪問	チェックボックス				
○	○	キーワード1	テキスト	255			
○	○	キーワード2	テキスト	255			
○	○	キーワード3	テキスト	255			
○	○	キーワード4	テキスト	255			
○	○	キーワード5	テキスト	255			
○	○	支援内容(結果)	ロングテキストエリア	131072			

別紙① 検討項目一覧

支援履歴(課題解決フェーズ)

よろず支援拠点	経済産業局 伴走支援	項目名	データ型	桁数	必須	選択リスト値	ヘルプ内容
○	○	事業所名	自動反映				
○	○	支援案件名	自動反映				
○	○	支援日	日付		必須		
○	○	支援時刻 From	選択リスト		必須	8:00;8:15;8:30;8:45;9:00;9:15;9:30;9:45;10:00;10:15;10:30;10:45;11:00;11:15;11:30;11:45;12:00;12:15;12:30;12:45;13:00;13:15;13:30;13:45;14:00;14:15;14:30;14:45;15:00;15:15;15:30;15:45;16:00;16:15;16:30;16:45;17:00;17:15;17:30;17:45;18:00;18:15;18:30;18:45;19:00;19:15;19:30;19:45;20:00;20:15;20:30;20:45;21:00;21:15;21:30;21:45;22:00	
○	○	支援時刻 To	選択リスト		必須	8:00;8:15;8:30;8:45;9:00;9:15;9:30;9:45;10:00;10:15;10:30;10:45;11:00;11:15;11:30;11:45;12:00;12:15;12:30;12:45;13:00;13:15;13:30;13:45;14:00;14:15;14:30;14:45;15:00;15:15;15:30;15:45;16:00;16:15;16:30;16:45;17:00;17:15;17:30;17:45;18:00;18:15;18:30;18:45;19:00;19:15;19:30;19:45;20:00;20:15;20:30;20:45;21:00;21:15;21:30;21:45;22:00	
○	○	支援形態	選択リスト		必須	来訪(対面);訪問(対面);オンライン;電話;メール	
○		支援場所	選択リスト		必須	実施機関;サテライト;出張相談;その他	
	○	支援場所	選択リスト		必須	先方事業所;オンライン;経済産業局;その他	
○	○	事業所主担当者 氏名	テキスト	255			
○	○	事業所副担当者1 氏名	テキスト	255			
○	○	事業所副担当者2 氏名	テキスト	255			
○		主対応者カテゴリ	選択リスト			よろず支援拠点チーフコーディネーター; よろず支援拠点コーディネーター	
	○	主対応者カテゴリ	選択リスト			経産局 地域担当;経産局 伴走コンサルタント;連携地域担当;経済産業局職員	
○	○	主対応者 氏名	自動反映	255			
○		副対応者1カテゴリ	選択リスト			よろず支援拠点チーフコーディネーター; よろず支援拠点コーディネーター	
	○	副対応者1カテゴリ	選択リスト			経産局 地域担当;経産局 伴走コンサルタント;連携地域担当;経済産業局職員	
○	○	副対応者1 氏名	テキスト	255			
○		副対応者2カテゴリ	選択リスト			よろず支援拠点チーフコーディネーター; よろず支援拠点コーディネーター	
	○	副対応者2カテゴリ	選択リスト			経産局 地域担当;経産局 伴走コンサルタント;連携地域担当;経済産業局職員	
○	○	副対応者2 氏名	テキスト	255			
○	○	副対応者(その他) 氏名	テキスト				
○	○	連携(同席)支援機関等カテゴリ	選択リスト			商工会;商工会議所;事業承継・引継ぎ支援センター;中小企業活性化協議会;信用保証協会;知財総合支援窓口;日本貿易振興機構(JETRO);下請かけこみ寺;中小企業基盤整備機構;都道府県中小企業支援センター;都道府県・市町村(特別区含む);中小企業団体中央会;中小企業診断協会;金融機関(都市銀行);金融機関(地方銀行);金融機関(信用金庫);金融機関(信用協同組合);政府系金融機関(商工組合中央金庫);政府系金融機関(日本政策金融公庫);系統金融機関(JA・JF);その他の金融機関;税理士・同会・同法人;公認会計士・同協会;監査法人;弁護士・同会・同法人;中小企業診断士;社会保険労務士・同会・同法人;行政書士・同会・同法人;民間コンサルティング会社;NPO法人;上記以外の一般社団法人;上記以外の一般財団法人;上記以外の公益社団法人;上記以外の公益財団法人;上記以外の民間会社;上記以外の官公庁;その他の支援機関	
○	○	連携(同席)支援機関等担当者 氏名	テキスト	255			
○	○	連携(同席)支援機関等名	テキスト	255			
○	○	備考	ロングテキストエリア	131072			
○		課題(中)1	選択リスト			IT活用(情報発信);IT活用(内部管理);広報戦略;広告デザイン;販路提案;市場設定;市場調査;海外展開;商品デザイン;商品開発;地域資源活用;資金繰り;債権保全・債権回収;現場改善・生産性向上;事業連携;経営知識;事業計画策定;施策活用;法律;知的財産;雇用・労務;その他	
○		課題(中)2	選択リスト			IT活用(情報発信);IT活用(内部管理);広報戦略;広告デザイン;販路提案;市場設定;市場調査;海外展開;商品デザイン;商品開発;地域資源活用;資金繰り;債権保全・債権回収;現場改善・生産性向上;事業連携;経営知識;事業計画策定;施策活用;法律;知的財産;雇用・労務;その他	

別紙① 検討項目一覧

支援履歴(課題解決フェーズ)

よろず支援拠点	経済産業局 伴走支援	項目名	データ型	桁数	必須	選択リスト値	ヘルプ内容
○		課題(中)3	選択リスト			IT活用(情報発信);IT活用(内部管理); 広報戦略;広告デザイン;販路提案;市場 設定;市場調査;海外展開;商品デザイン; 商品開発;地域資源活用;資金繰り;債権 保全・債権回収;現場改善・生産性向上; 事業連携;経営知識;事業計画策定;施 策活用;法律;知的財産;雇用・労務;その 他	
○		その他詳細1	テキスト	255			
○		その他詳細2	テキスト	255			
○		その他詳細3	テキスト	255			
○		課題設定日1	日付				
○		課題設定日2	日付				
○		課題設定日3	日付				
○		課題解決日1	日付				
○		課題解決日2	日付				
○		課題解決日3	日付				
○	○	テーマ	テキスト	255			
○	○	フォロー	チェックボックス				
○	○	キーワード1	テキスト	255			
○	○	キーワード2	テキスト	255			
○	○	キーワード3	テキスト	255			
○	○	キーワード4	テキスト	255			
○	○	キーワード5	テキスト	255			
○		相談内容	ロングテキストエリア	131072			
○	○	支援内容	ロングテキストエリア	131072			
○		決定項目	ロングテキストエリア	131072			
○		紹介した支援機関等カテゴリ	選択リスト			商工会;商工会議所;事業承継・引継ぎ 支援センター;中小企業活性化協議会; 信用保証協会;知財総合支援窓口;日本 貿易振興機構(JETRO);下請かけこみ 寺;中小企業基盤整備機構;都道府県中 小企業支援センター;都道府県・市町村 (特別区含む);中小企業団体中央会;中 小企業診断協会;金融機関(都市銀行); 金融機関(地方銀行);金融機関(信用 金庫);金融機関(信用協同組合);政府 系金融機関(商工組合中央金庫);政府 系金融機関(日本政策金融公庫);系統 金融機関(JA・JF);その他の金融機関; 税理士・同会・同法人;公認会計士・同 協会;監査法人;弁護士・同会・同法人; 中小企業診断士;社会保険労務士・同 会・同法人;行政書士・同会・同法人;民 間コンサルティング会社;NPO法人;上記 以外の一般社団法人;上記以外の一般 財団法人;上記以外の公益社団法人;上 記以外の公益財団法人;上記以外の民 間会社;上記以外の官公庁;その他の支 援機関	
○		紹介した支援機関等名	テキスト	255			

別紙①_検計項目一覧

支援履歴(企業訪問記録のみ)

経済産業局 企業訪問	項目名	データ型	桁数	必須	選択リスト値	ヘルプ内容
○	事業所名	自動反映				
○	支援案件名	自動反映				
○	支援日	日付				
○	支援時刻 From	選択リスト		必須	8:00;8:15;8:30;8:45;9:00;9:15;9:30;9:45;10:00;10:15;10:30;10:45;11:00;11:15;11:30;11:45;12:00;12:15;12:30;12:45;13:00;13:15;13:30;13:45;14:00;14:15;14:30;14:45;15:00;15:15;15:30;15:45;16:00;16:15;16:30;16:45;17:00;17:15;17:30;17:45;18:00;18:15;18:30;18:45;19:00;19:15;19:30;19:45;20:00;20:15;20:30;20:45;21:00;21:15;21:30;21:45;22:00	
○	支援時刻 To	選択リスト		必須	8:00;8:15;8:30;8:45;9:00;9:15;9:30;9:45;10:00;10:15;10:30;10:45;11:00;11:15;11:30;11:45;12:00;12:15;12:30;12:45;13:00;13:15;13:30;13:45;14:00;14:15;14:30;14:45;15:00;15:15;15:30;15:45;16:00;16:15;16:30;16:45;17:00;17:15;17:30;17:45;18:00;18:15;18:30;18:45;19:00;19:15;19:30;19:45;20:00;20:15;20:30;20:45;21:00;21:15;21:30;21:45;22:00	
○	支援形態	選択リスト		必須	来訪(対面);訪問(対面);オンライン;電話;メール	
○	支援場所	選択リスト		必須	先方事業所;オンライン;その他	
○	事業所主担当者 氏名	テキスト	255			
○	事業所副担当者1 氏名	テキスト	255			
○	事業所副担当者2 氏名	テキスト	255			
○	主対応者カテゴリ	選択リスト			選択肢は別途検討とした	
○	主対応者 氏名	自動反映	255			
○	副対応者1カテゴリ	選択リスト			選択肢は別途検討とした	
○	副対応者1 氏名	テキスト	255			
○	副対応者2カテゴリ	選択リスト			選択肢は別途検討とした	
○	副対応者2 氏名	テキスト	255			
○	連携(同席)支援機関等カテゴリ	選択リスト			商工会;商工会議所;事業承継・引継ぎ支援センター;中小企業活性化協議会;信用保証協会;知財総合支援窓口;日本貿易振興機構(JETRO);下請かけこみ寺;中小企業基盤整備機構;都道府県中小企業支援センター;都道府県・市町村(特別区含む);中小企業団体中央会;中小企業診断協会;金融機関(都市銀行);金融機関(地方銀行);金融機関(信用金庫);金融機関(信用協同組合);政府系金融機関(商工組合中央金庫);政府系金融機関(日本政策金融公庫);系統金融機関(JA・JF);その他の金融機関;税理士・同会・同法人;公認会計士・同協会;監査法人;弁護士・同会・同法人;中小企業診断士;社会保険労務士・同会・同法人;行政書士・同会・同法人;民間コンサルティング会社;NPO法人;上記以外の一般社団法人;上記以外の一般財団法人;上記以外の公益社団法人;上記以外の公益財団法人;上記以外の民間会社;上記以外の官公庁;その他の支援機関	
○	連携(同席)支援機関等担当者	テキスト	255			
○	連携(同席)支援機関等名	テキスト	255			
○	備考	ロングテキストエリア	131072			
○	テーマ	テキスト	255			
○	支援内容(結果)	ロングテキストエリア	131072			
○	キーワード1	テキスト	255			
○	キーワード2	テキスト	255			
○	キーワード3	テキスト	255			
○	キーワード4	テキスト	255			
○	キーワード5	テキスト	255			

プロトタイプ打鍵に関するアンケート

氏名

機能

事業所

事業所
相談者

支援活動
課題設定フェーズ
支援案件

支援活動
課題設定フェーズ
支援履歴

支援活動
課題解決フェーズ
支援案件

支援活動
課題解決フェーズ
支援履歴

	評価視点	5段階評価（選択してください）	評価理由
	業務を行ううえで便利そうか		
	登録・更新をスムーズ、正確、短時間で記録できそうか		
	操作しやすく、操作ミスを起こしにくそうか		
	業務に役立つ機能を有しているか		
	登録・変更を行ううえで処理スピードは十分か		
	業務活動の変化、業務量の増加に対応できそうか		
	画面に表示されたデータ項目に漏れや追加があれば記載		
	要望・意見 自由記載		
	業務を行ううえで便利そうか		
	登録・更新をスムーズ、正確、短時間で記録できそうか		
	操作しやすく、操作ミスを起こしにくそうか		
	業務に役立つ機能を有しているか		
	登録・変更を行ううえで処理スピードは十分か		
	業務活動の変化、業務量の増加に対応できそうか		
	画面に表示されたデータ項目に漏れや追加があれば記載		
	要望・意見 自由記載		
	業務を行ううえで便利そうか		
	登録・更新をスムーズ、正確、短時間で記録できそうか		
	操作しやすく、操作ミスを起こしにくそうか		
	業務に役立つ機能を有しているか		
	登録・変更を行ううえで処理スピードは十分か		
	業務活動の変化、業務量の増加に対応できそうか		
	画面に表示されたデータ項目に漏れや追加があれば記載		
	要望・意見 自由記載		
	業務を行ううえで便利そうか		
	登録・更新をスムーズ、正確、短時間で記録できそうか		
	操作しやすく、操作ミスを起こしにくそうか		
	業務に役立つ機能を有しているか		
	登録・変更を行ううえで処理スピードは十分か		
	業務活動の変化、業務量の増加に対応できそうか		
	画面に表示されたデータ項目に漏れや追加があれば記載		
	要望・意見 自由記載		
	業務を行ううえで便利そうか		
	登録・更新をスムーズ、正確、短時間で記録できそうか		
	操作しやすく、操作ミスを起こしにくそうか		
	業務に役立つ機能を有しているか		
	登録・変更を行ううえで処理スピードは十分か		
	業務活動の変化、業務量の増加に対応できそうか		
	画面に表示されたデータ項目に漏れや追加があれば記載		
	要望・意見 自由記載		
	業務を行ううえで便利そうか		
	登録・更新をスムーズ、正確、短時間で記録できそうか		
	操作しやすく、操作ミスを起こしにくそうか		
	業務に役立つ機能を有しているか		
	登録・変更を行ううえで処理スピードは十分か		
	業務活動の変化、業務量の増加に対応できそうか		
	画面に表示されたデータ項目に漏れや追加があれば記載		
	要望・意見 自由記載		

「同じ」は現行のシステム（又は現行利用ツール）と同じレベル

全体を通しての感想・意見